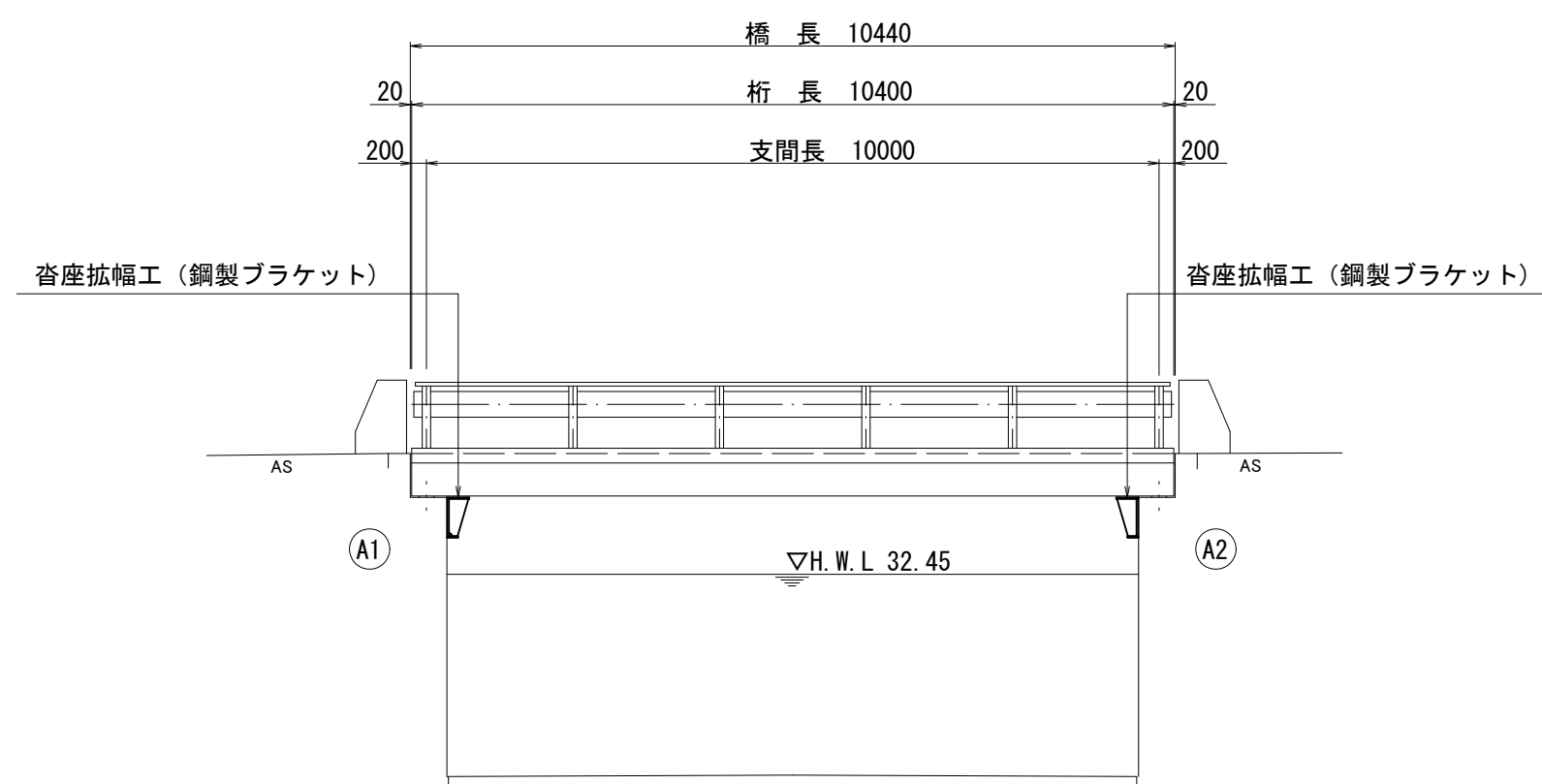


# 小野寺橋 耐震補強一般図

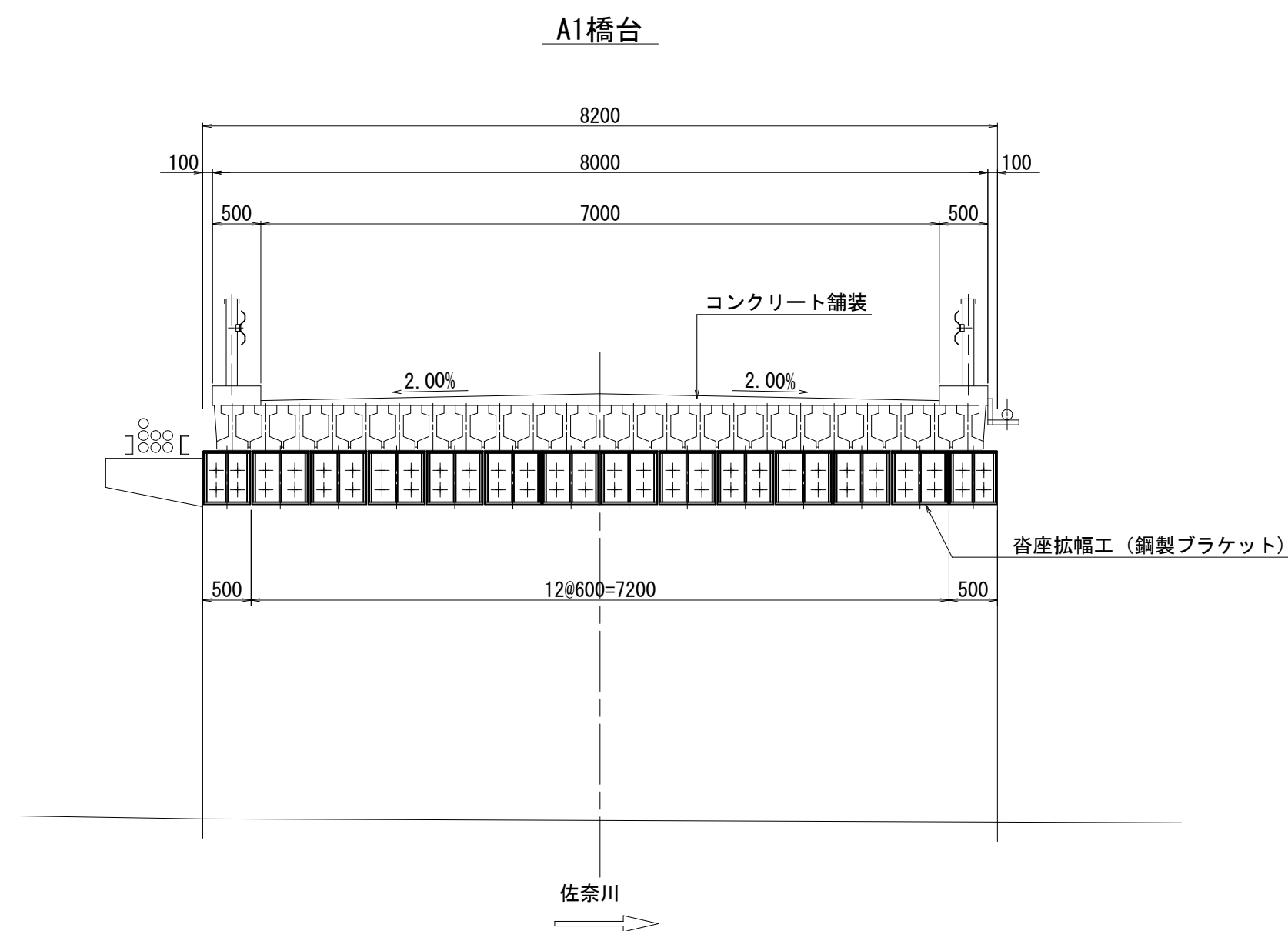
側面図

S=1:100



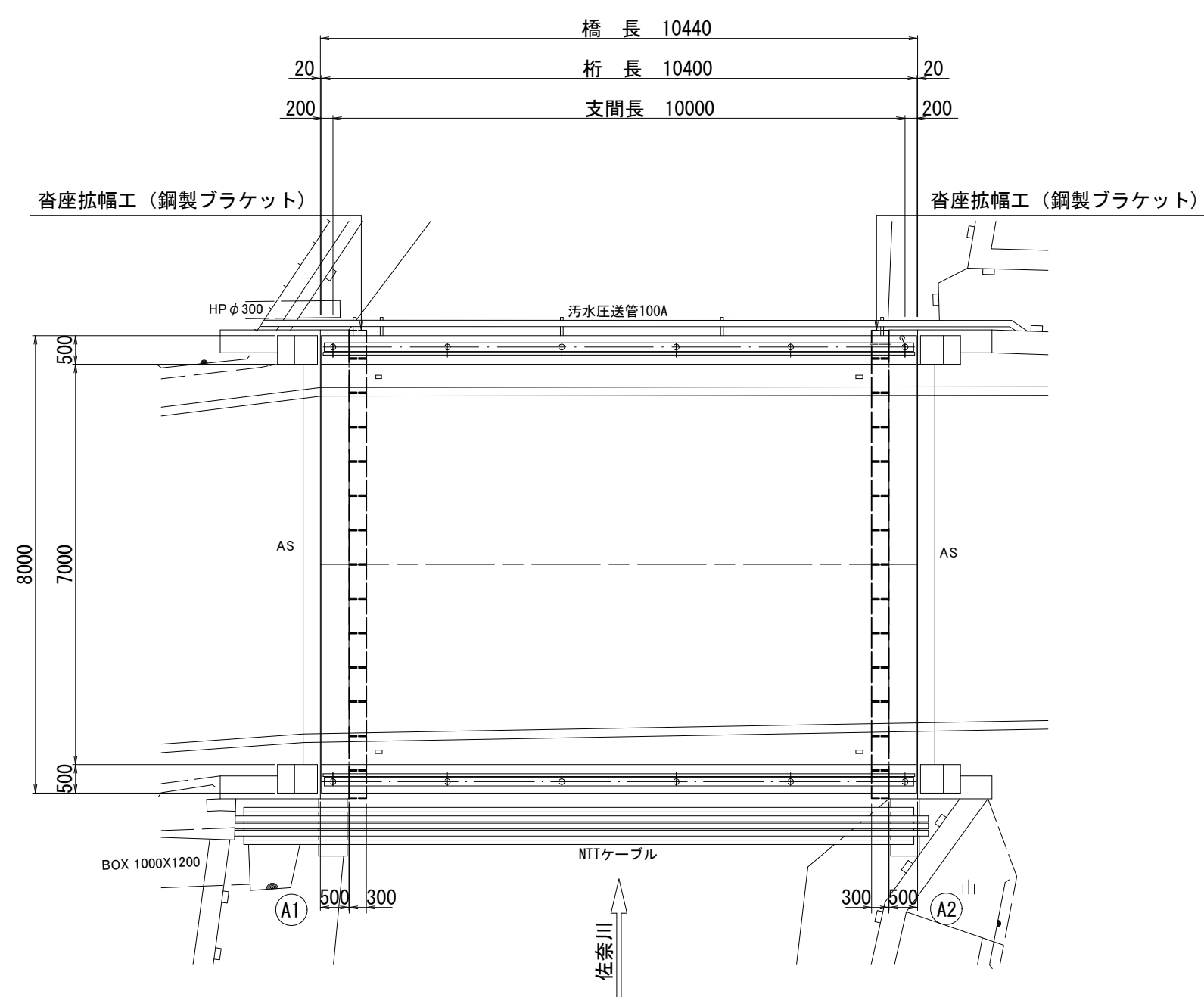
正面図

S=1:60

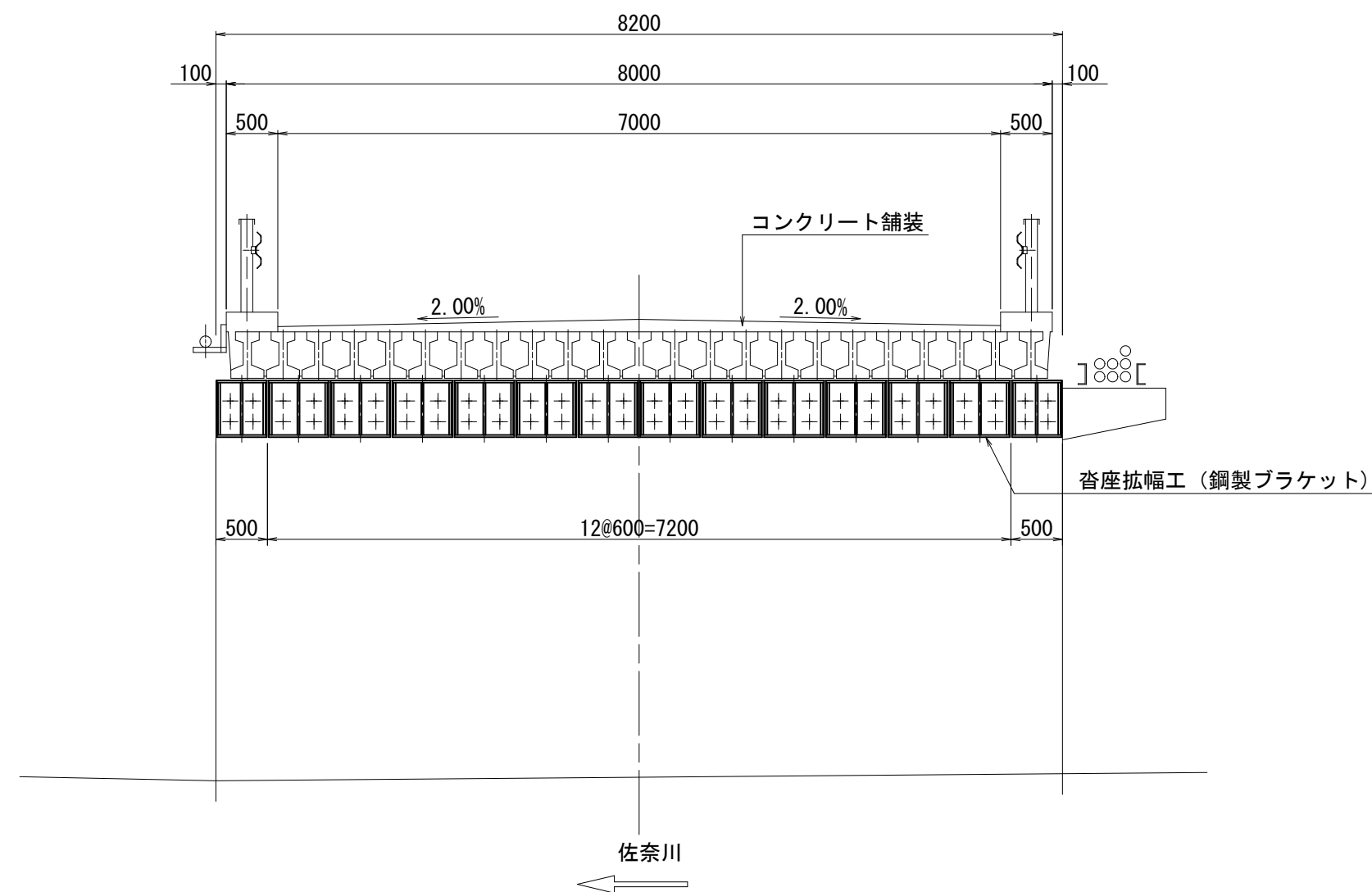


平面図

S=1:100



A2橋台



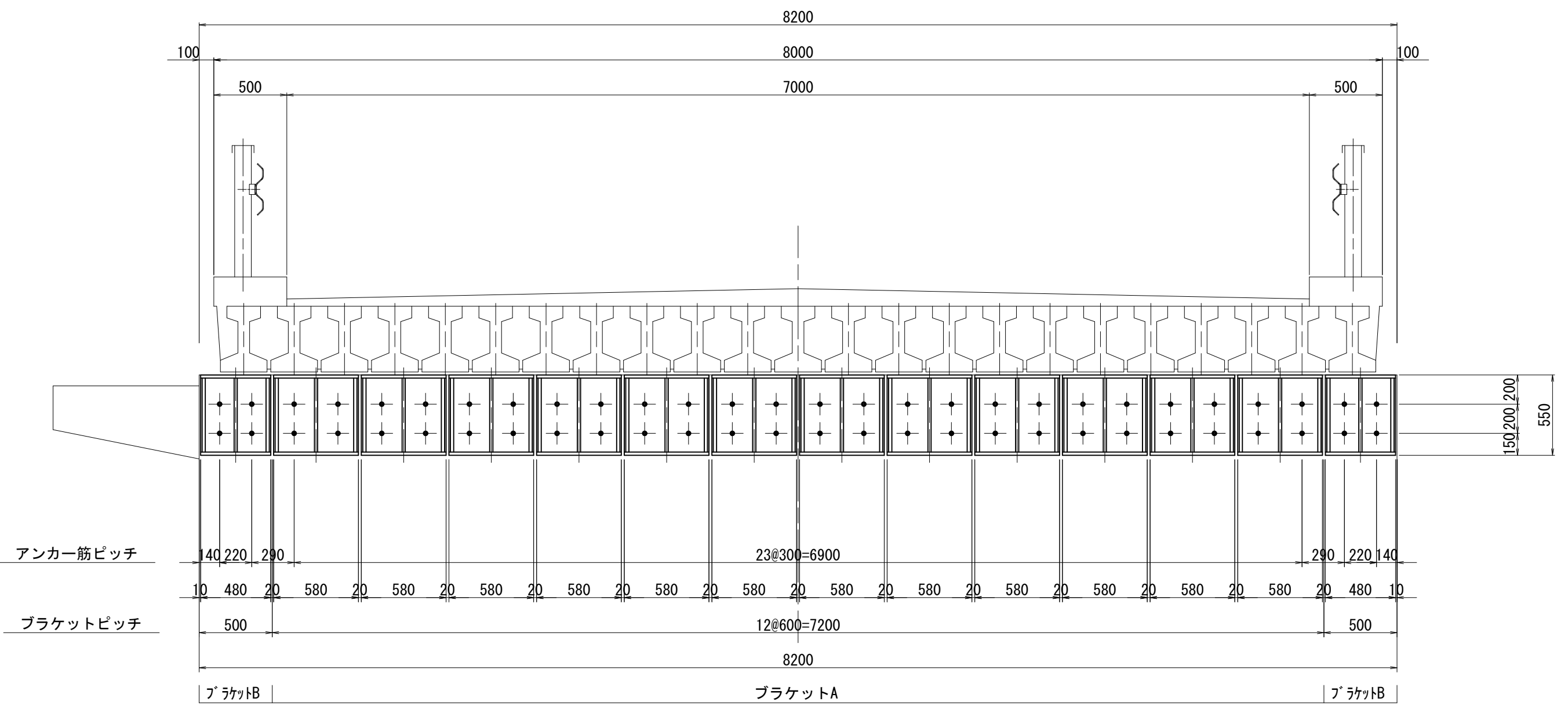
設計条件

橋格	-
上部工形式	PC床版
橋長	10.440m
桁長	10.400m
支間長	10.000m
全幅員	8.000m
有効幅員	7.000m
斜角	90° 00'
舗装	コンクリート舗装
支承	ゴム支承
橋台	逆T式(推定)
基礎	-

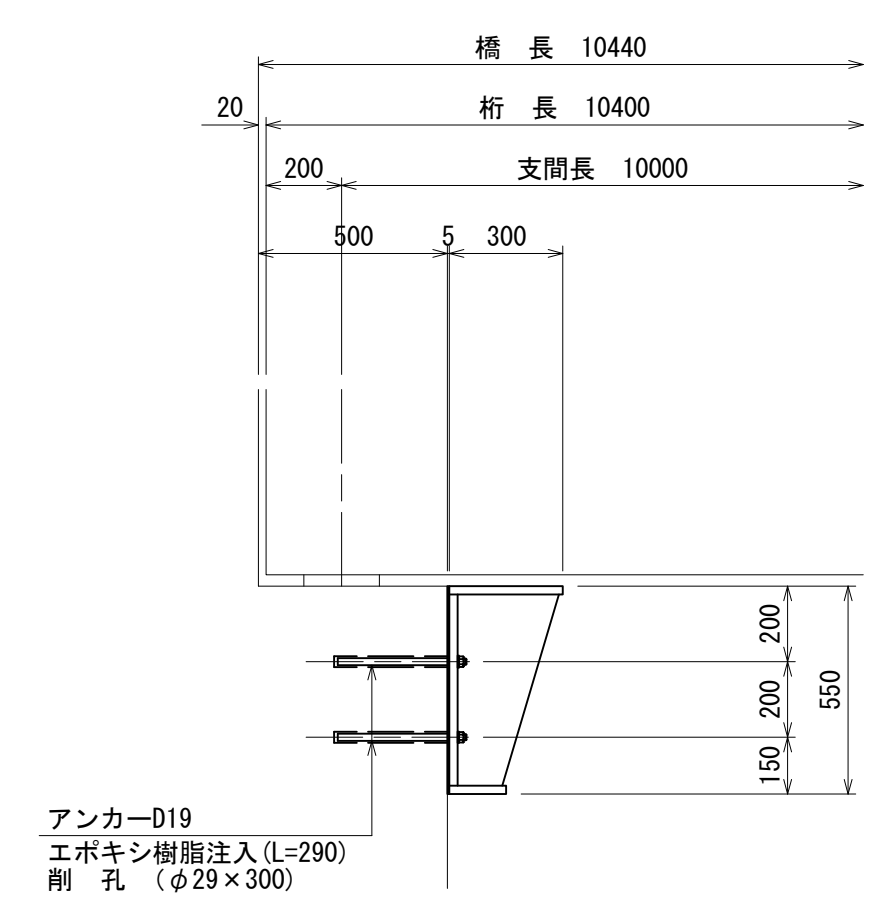
工事名	平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 小野寺橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	耐震補強一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 1
会社名			
事務所名	多気町		

# A1橋台沓座拡幅詳細図

正面図  
S=1:30

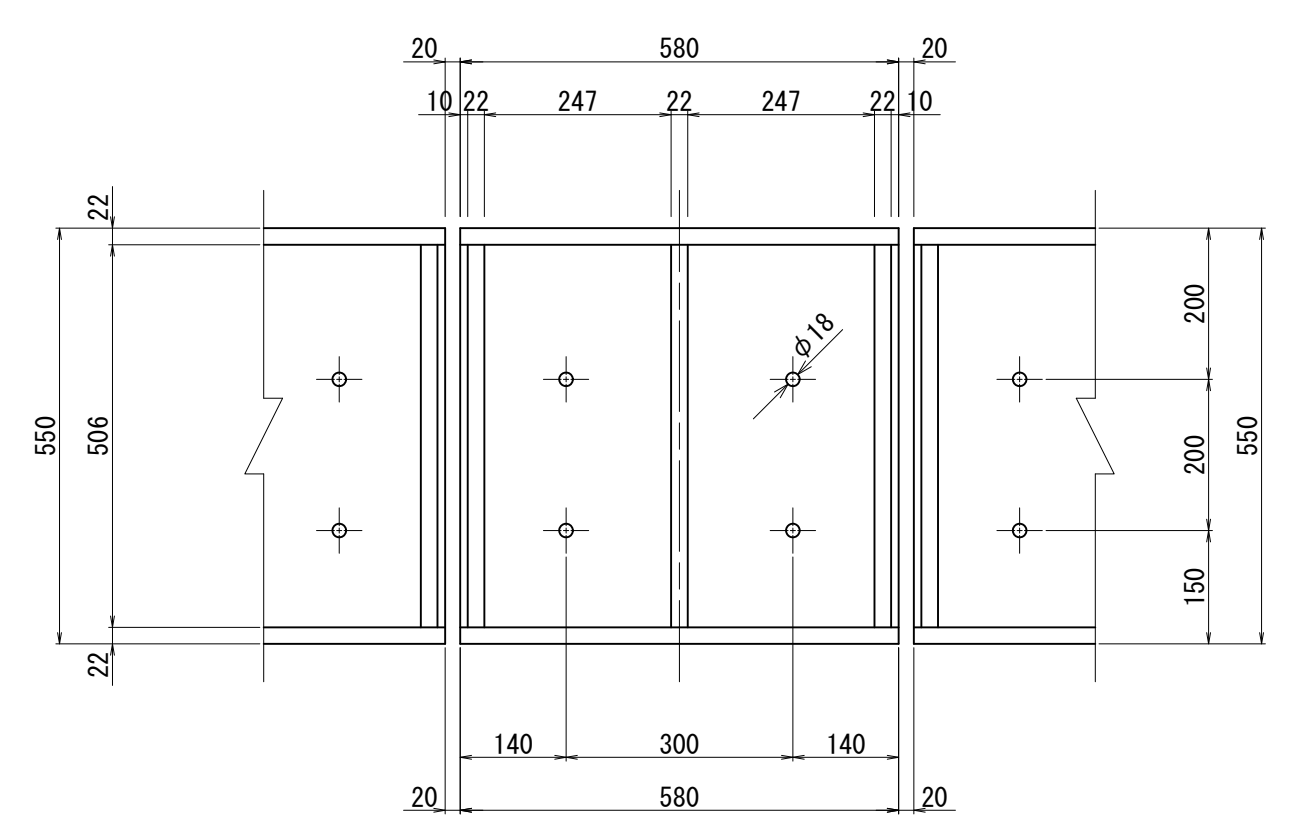


断面図  
S=1:20



ブラケットA  
S=1:10

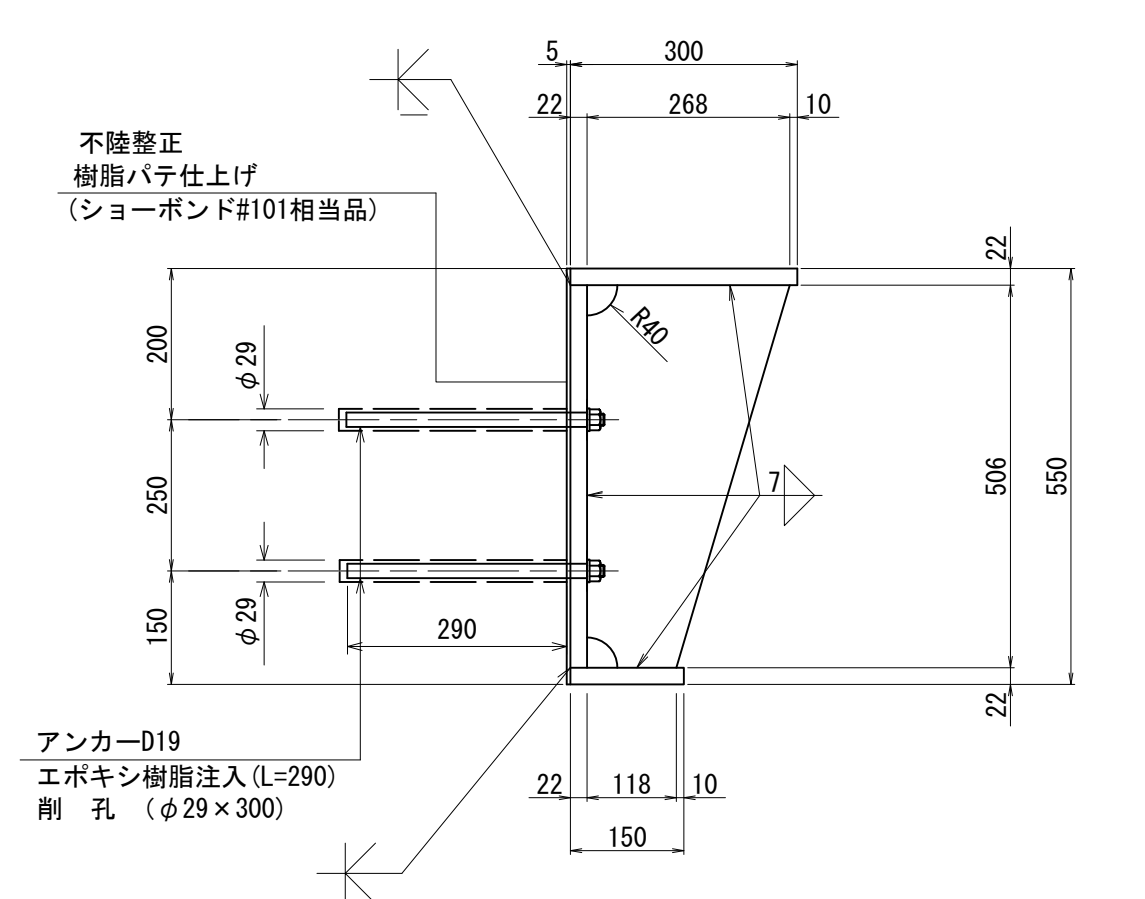
沓座拡幅詳細図  
B=580



- 沓座拡幅 [1基当り] N=12基
- 1-PL 300×22×580
  - 3-PL 268×22×506
  - 1-PL 150×22×580
  - 1-PL 506×22×580
  - 4-Anc Bolt D19×350 [SD345, NW付]

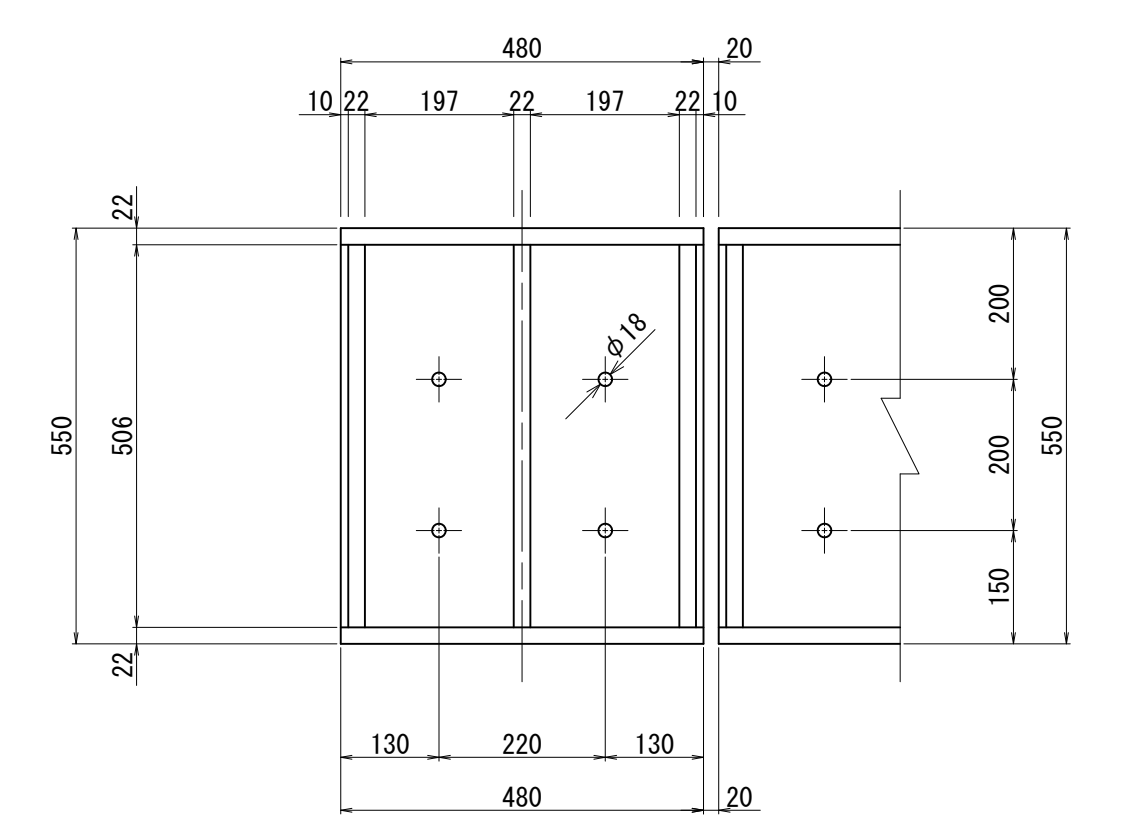
鋼製ブラケット詳細図  
S=1:10

側面図



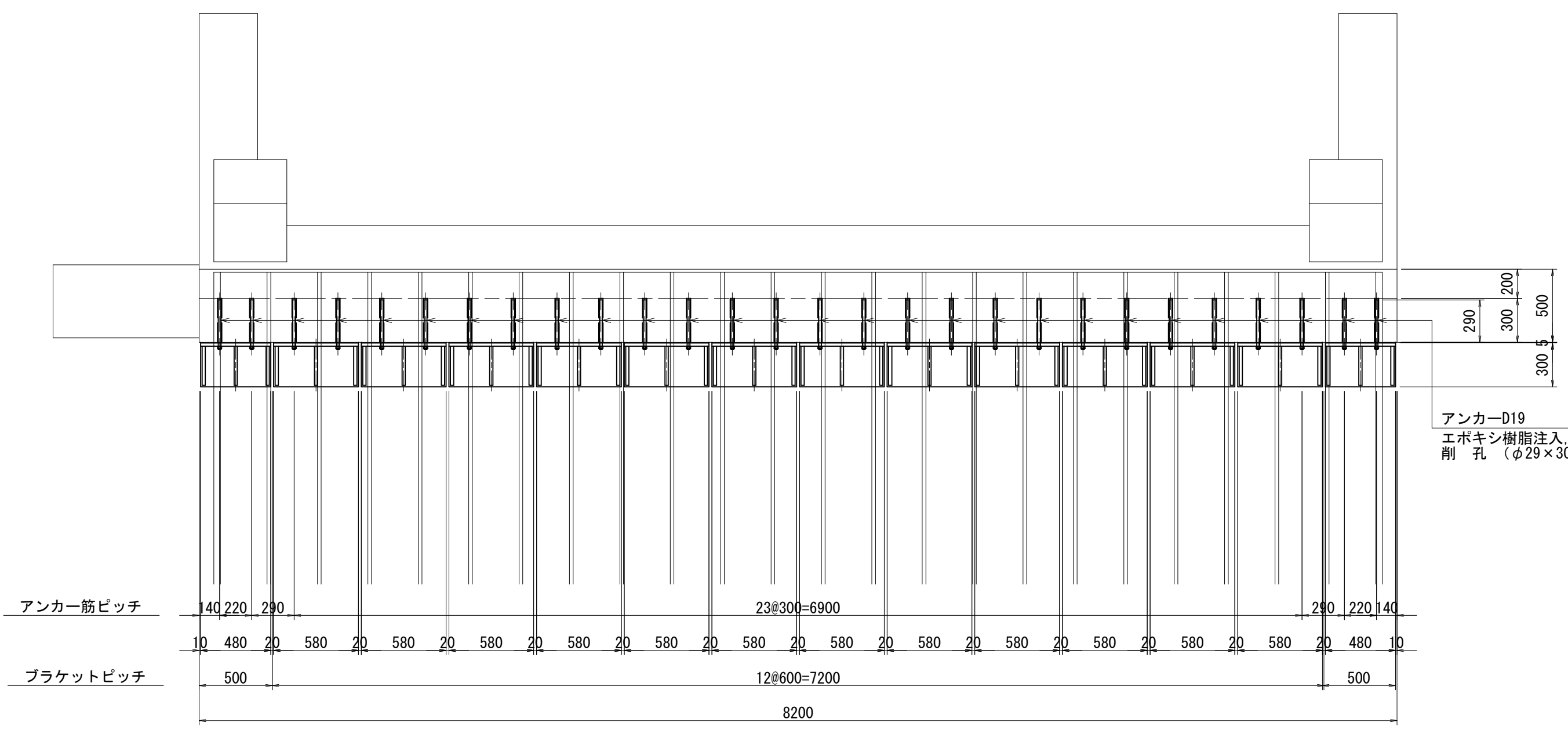
ブラケットB  
S=1:10

沓座拡幅詳細図  
B=480

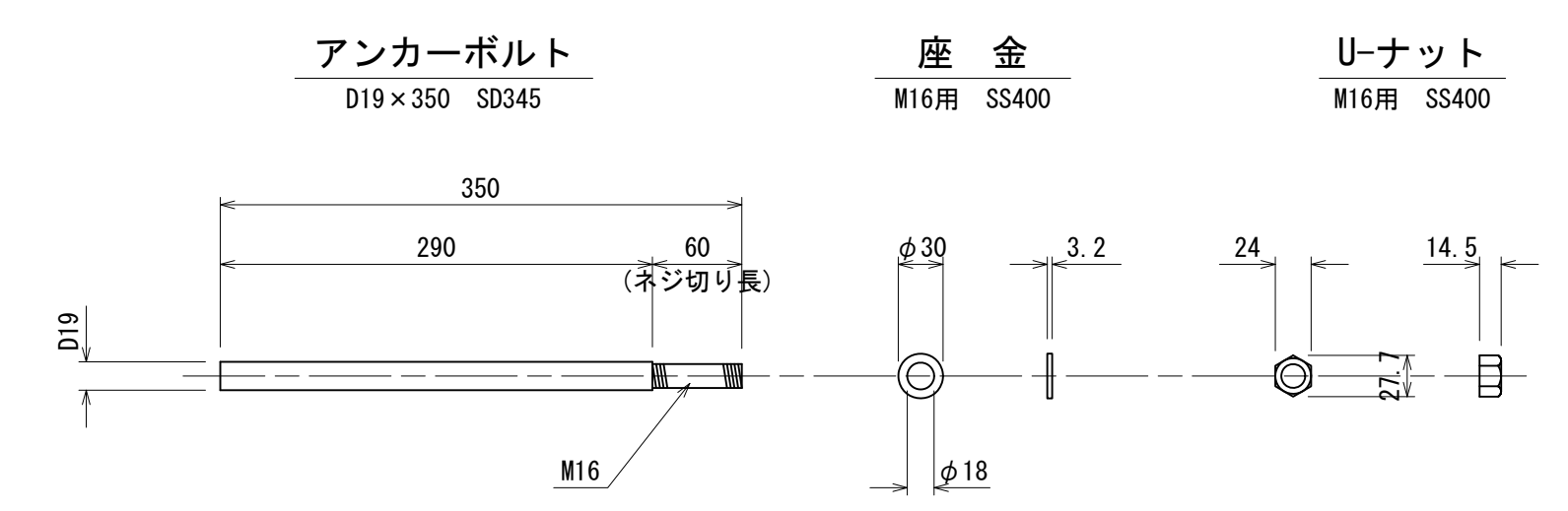


- 沓座拡幅 [1基当り] N=2基
- 1-PL 300×22×480
  - 3-PL 268×22×506
  - 1-PL 150×22×480
  - 1-PL 506×22×480
  - 4-Anc Bolt D19×350 [SD345, NW付]

平面図  
S=1:30



アンカーボルト詳細図  
S=1:5



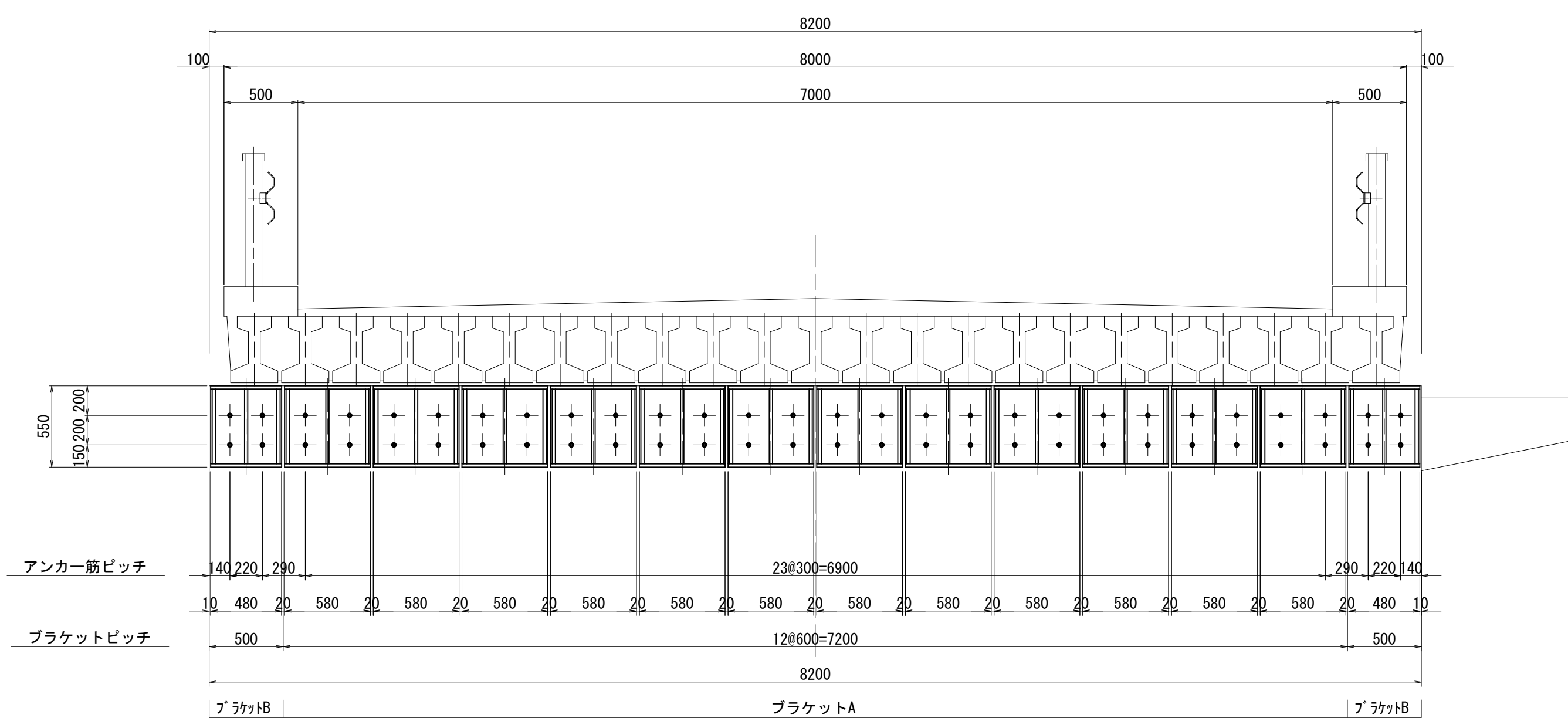
- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。  
ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。  
付着量は、鋼材 JIS8641 HDZ55  
アンカーボルト、Nut、Washer JIS8641 HDZ35  
3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、  
現地再確認後、調整すること。  
4. 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断  
しないようにすること。  
5. アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。  
6. ( ) 内は、参考値とする。

工事名	平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 小野寺橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	A1橋台沓座拡幅詳細図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 2
会社名			
事務所名	多気町		

# A2橋台沓座拡幅詳細図

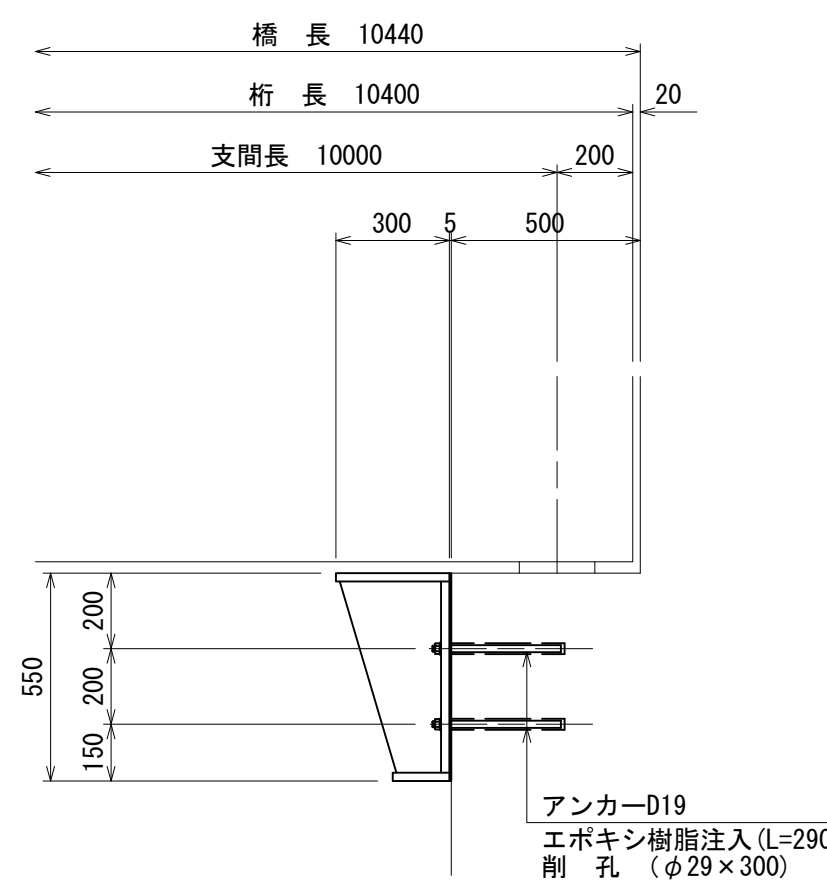
正面図

S=1:30



断面図

S=1:20



ブラケットA

S=1:10

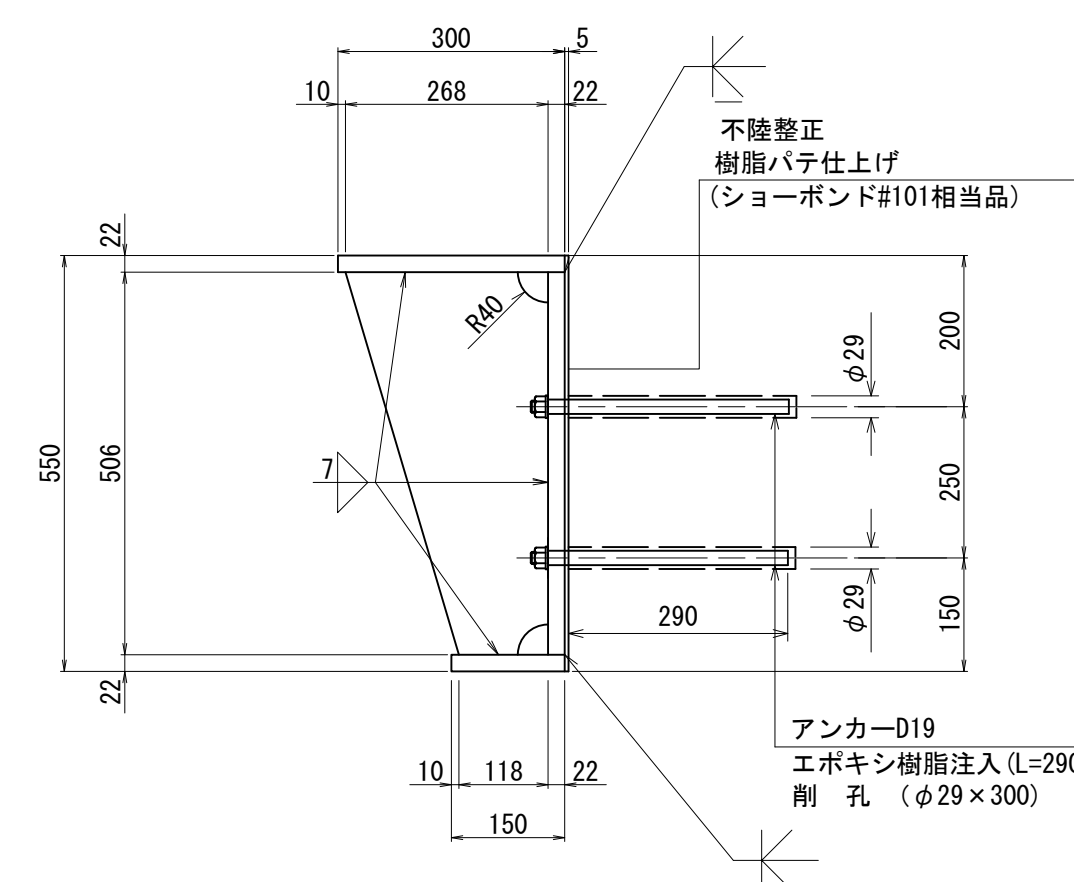
沓座拡幅詳細図

B=580

鋼製ブラケット詳細図

S=1:10

側面図



ブラケットB

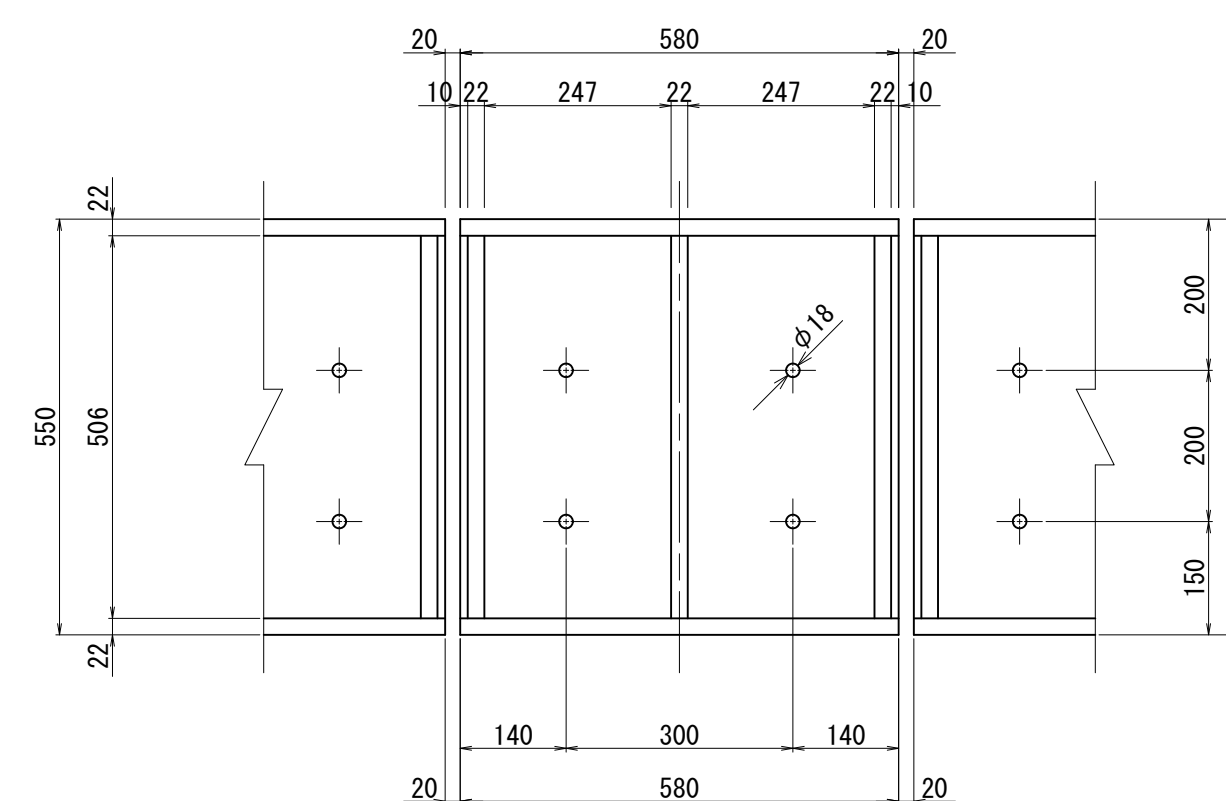
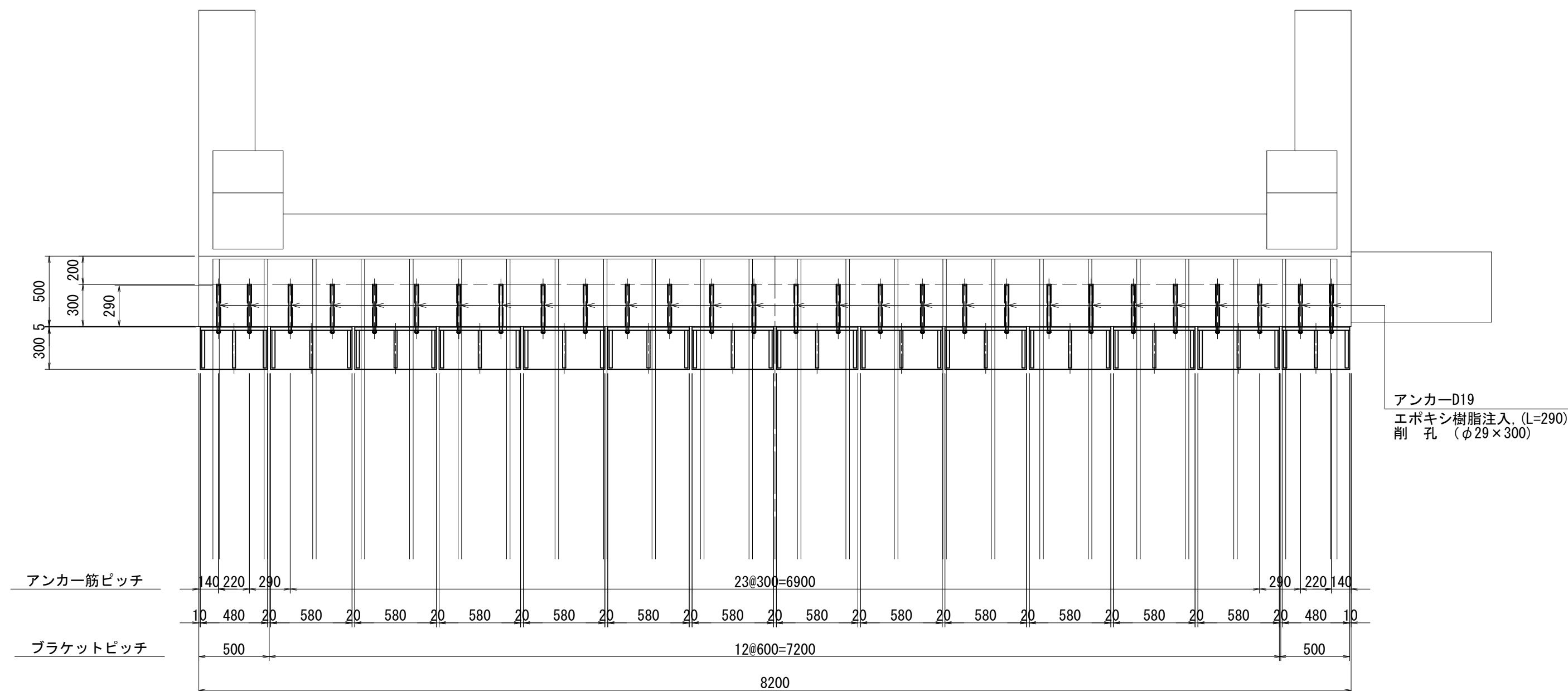
S=1:10

沓座拡幅詳細図

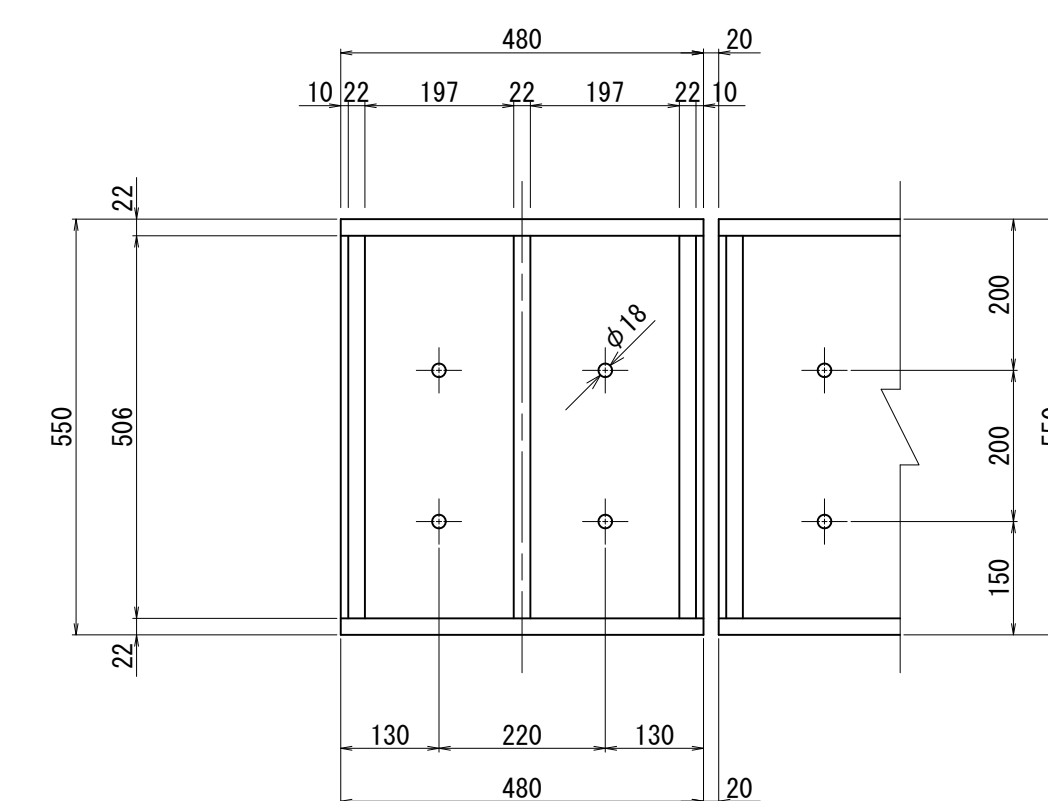
B=480

平面図

S=1:30



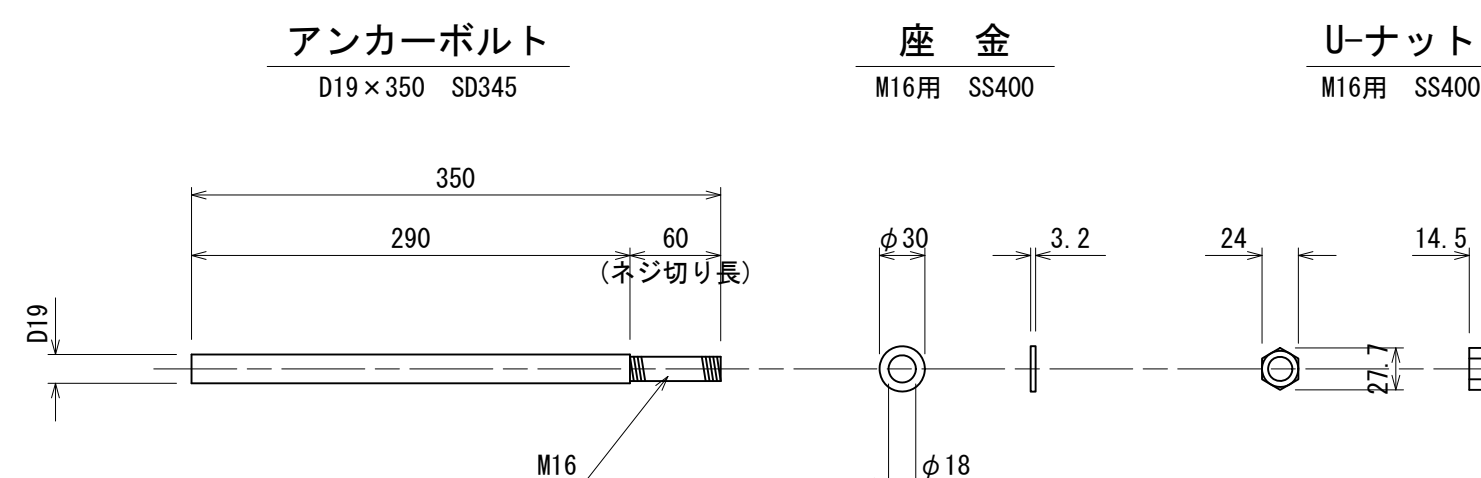
沓座拡幅 [1基当り] N=12基  
1-PL 300×22×580  
3-PL 268×22×506  
1-PL 150×22×580  
1-PL 506×22×580  
4-Anc Bolt D19×350 [SD345, NW付]



沓座拡幅 [1基当り] N=2基  
1-PL 300×22×480  
3-PL 268×22×506  
1-PL 150×22×480  
1-PL 506×22×480  
4-Anc Bolt D19×350 [SD345, NW付]

アンカーボルト詳細図

S=1:5



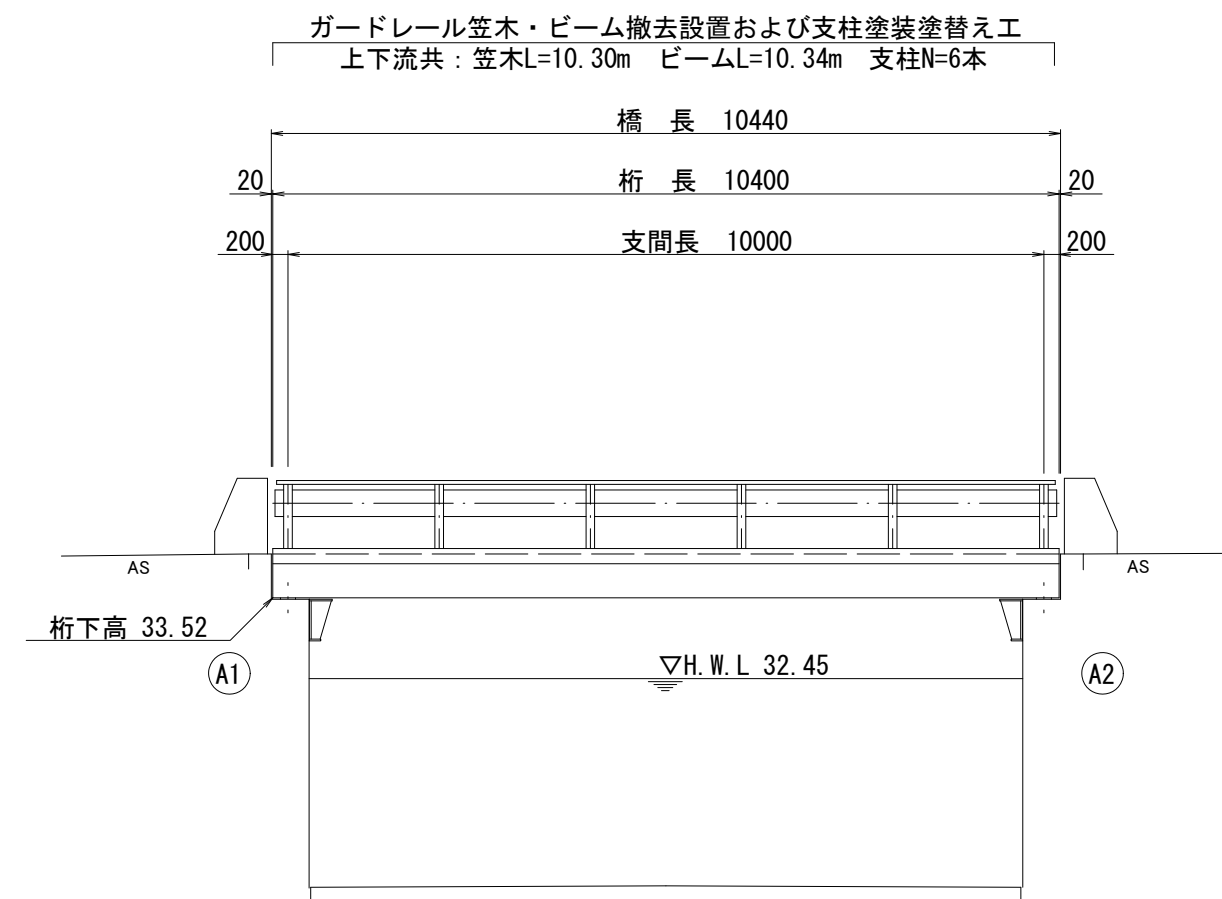
- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。付着量は、鋼材 JIS8641 HDZ55 アンカーボルト、Nut、Washer JIS8641 HDZ35
- 3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、現地再確認後、調整すること。
- 4. 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
- 5. アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。
- 6. ( ) 内は、参考値とする。

工事名	平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 小野寺橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	A2橋台沓座拡幅詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号 6 3 葉之内
会社名	
事務所名	多気町

# 小野寺橋 修繕工一般図

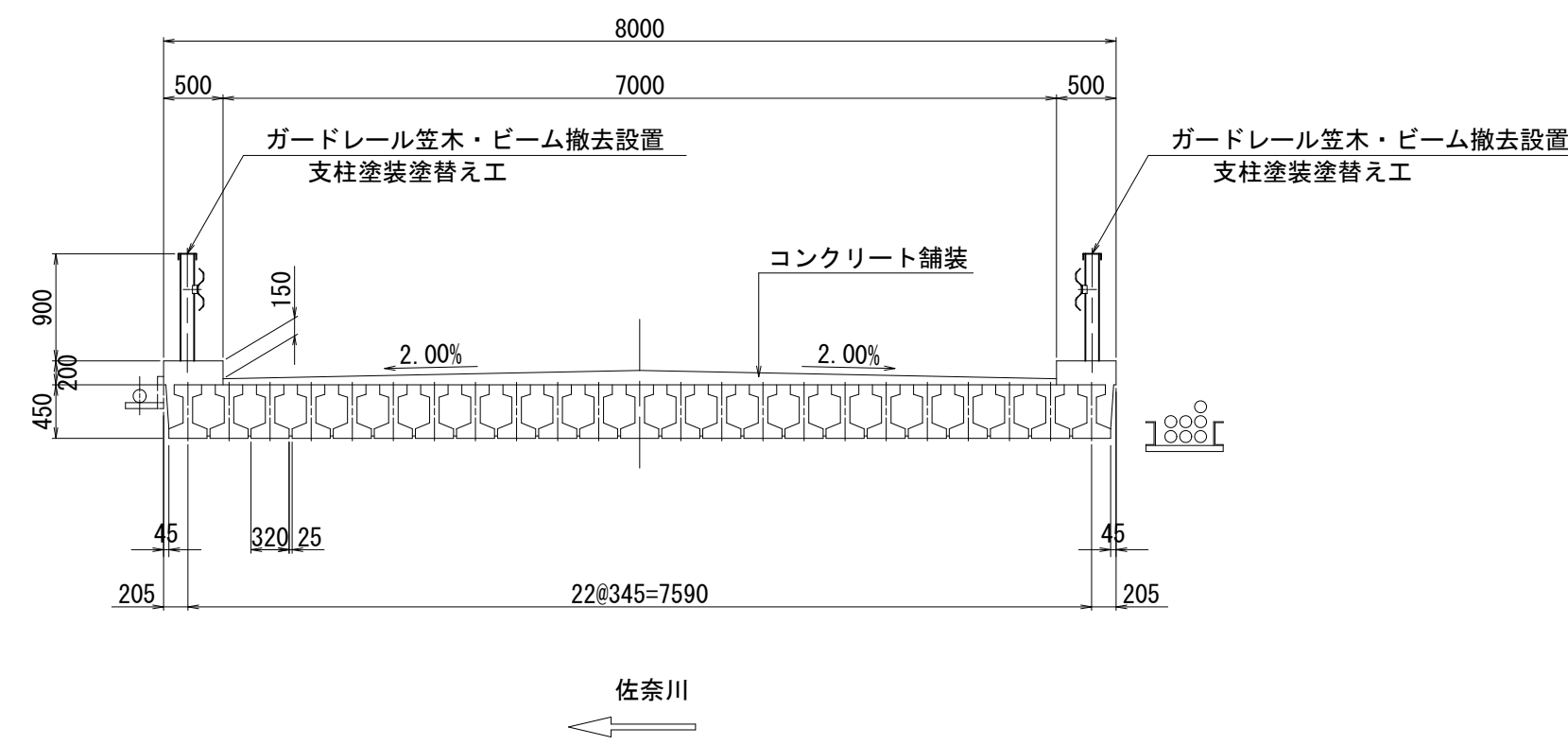
側面図

S=1:100



断面図

S=1:60

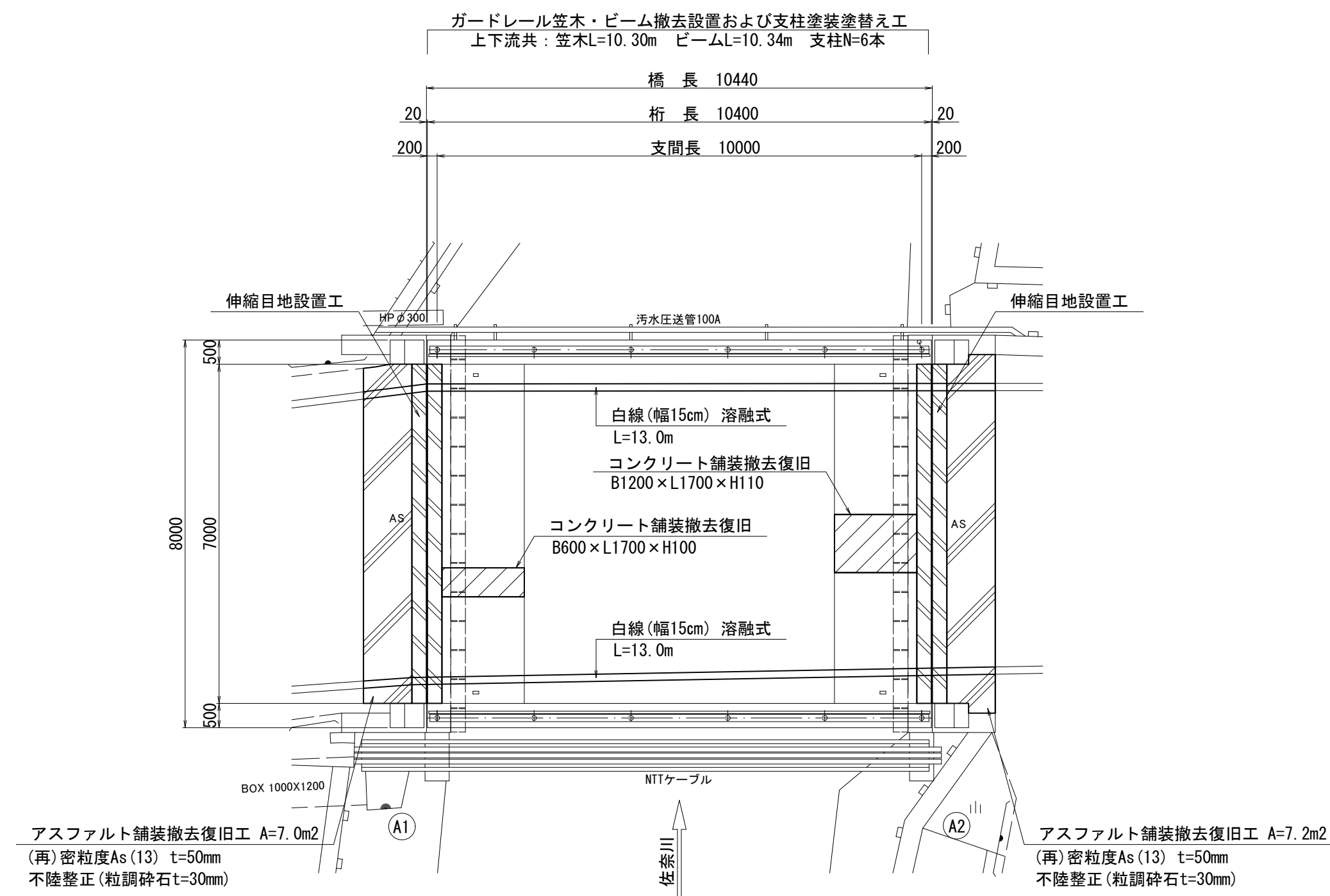


設計条件

部	橋格	-
上	上部工形式	PC床版
	橋長	10.440m
	桁長	10.400m
	支間長	10.000m
	全幅員	8.000m
	有効幅員	7.000m
工	斜角	90° 00'
	舗装	コンクリート舗装
	支承	ゴム支承
下	橋台	逆T式(推定)
	基礎	-

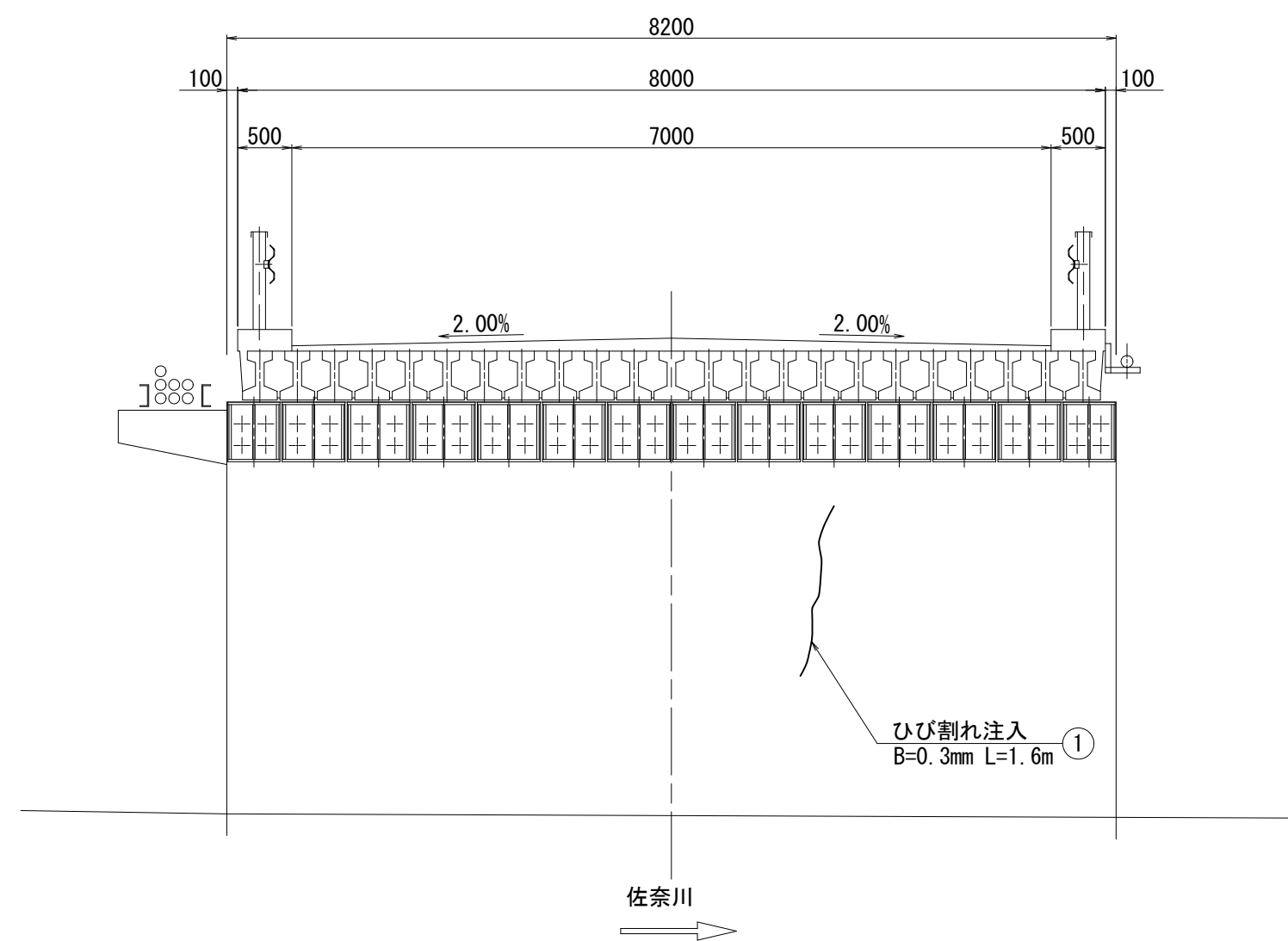
平面図

S=1:100



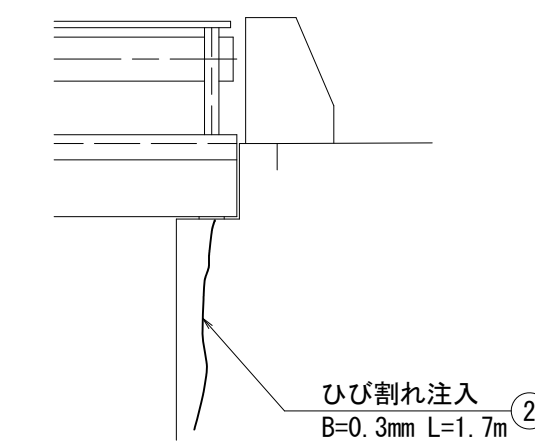
正面図

A1橋台 S=1:60



側面図

A1橋台下流側 S=1:60



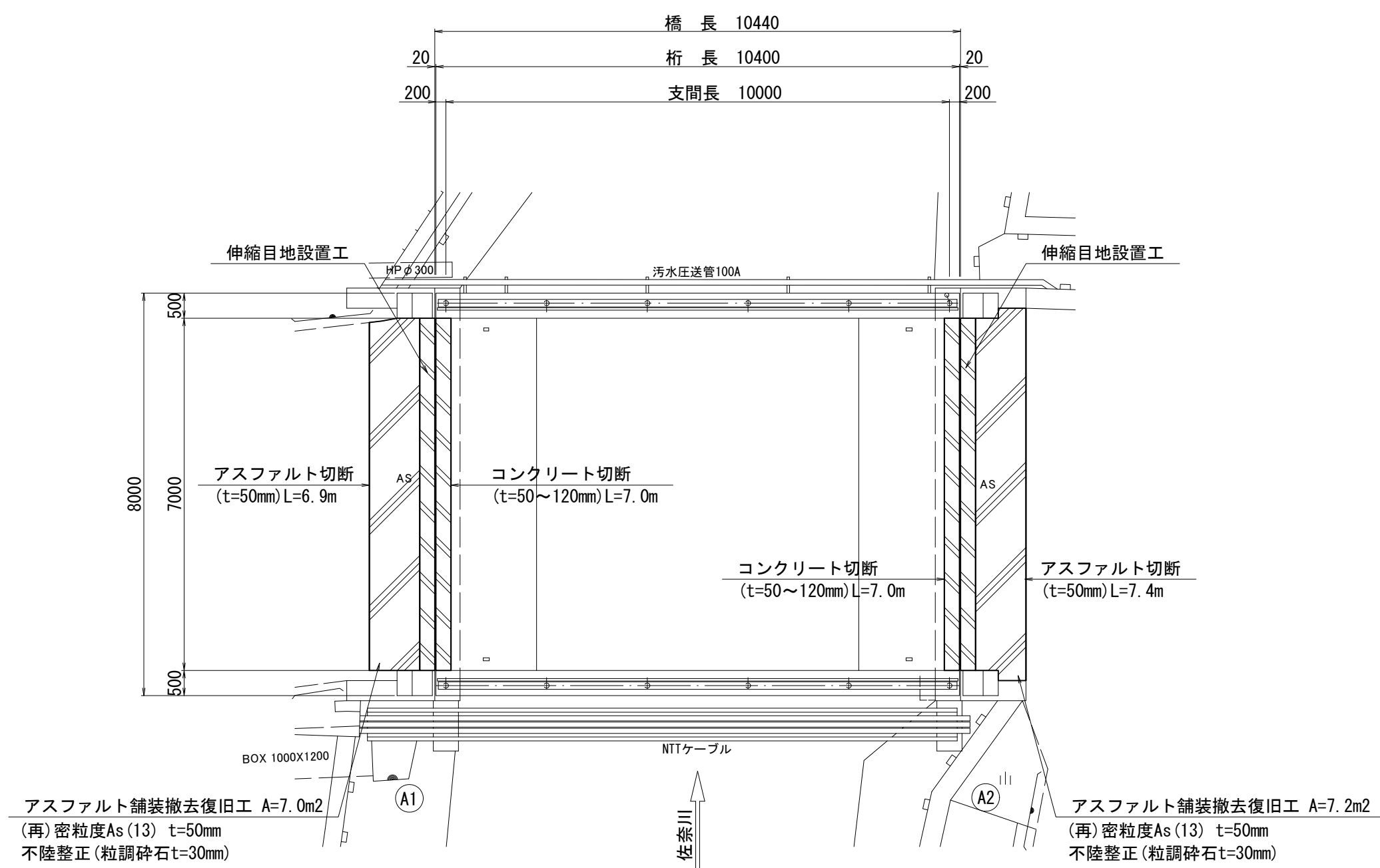
※コンクリート舗装の規格は  
24-12-20(超速硬コンクリート)とする。

工事名	平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 小野寺橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	修繕工一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 4
会社名			
事務所名	多気町		

# 修繕工詳細図

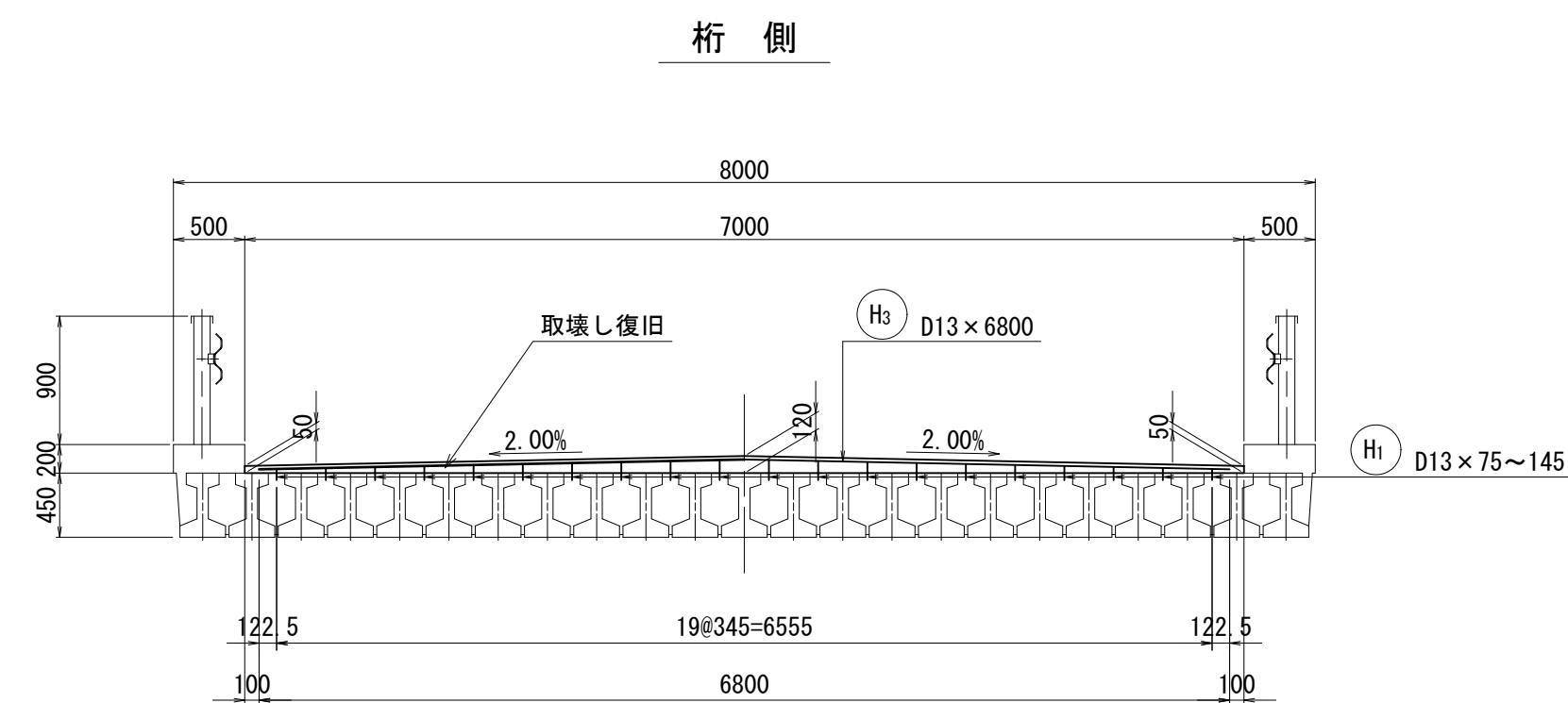
平面図

S=1:100

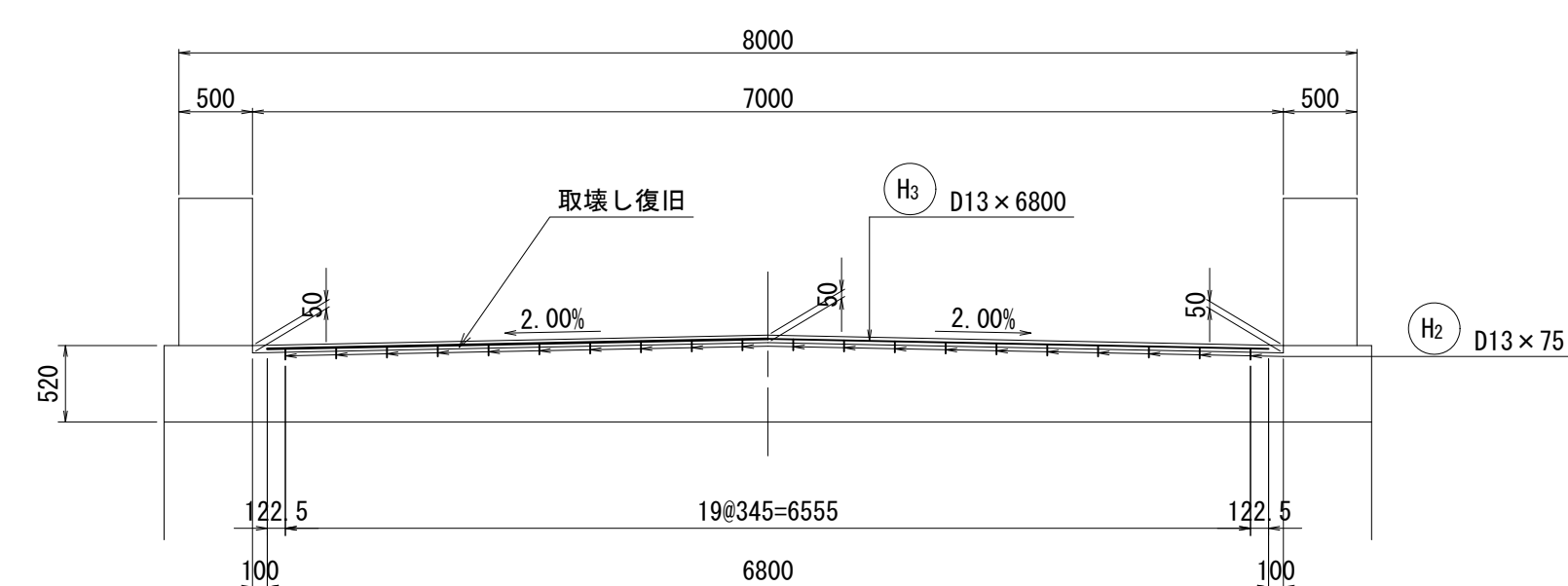


断面図

S=1:50

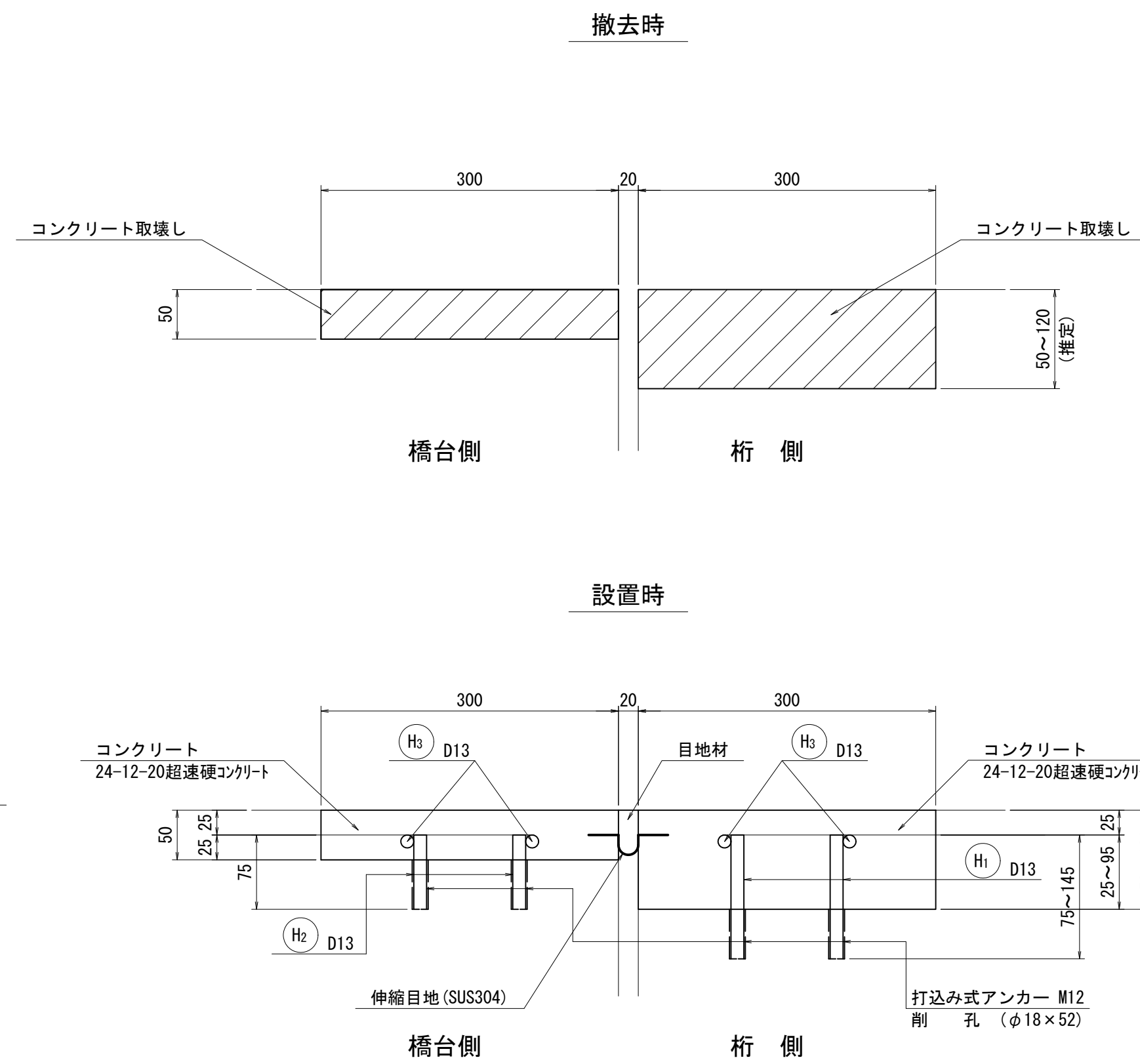


橋台側



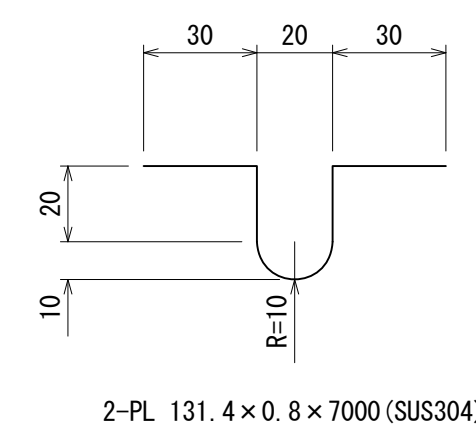
伸縮目地設置工

S=1:5

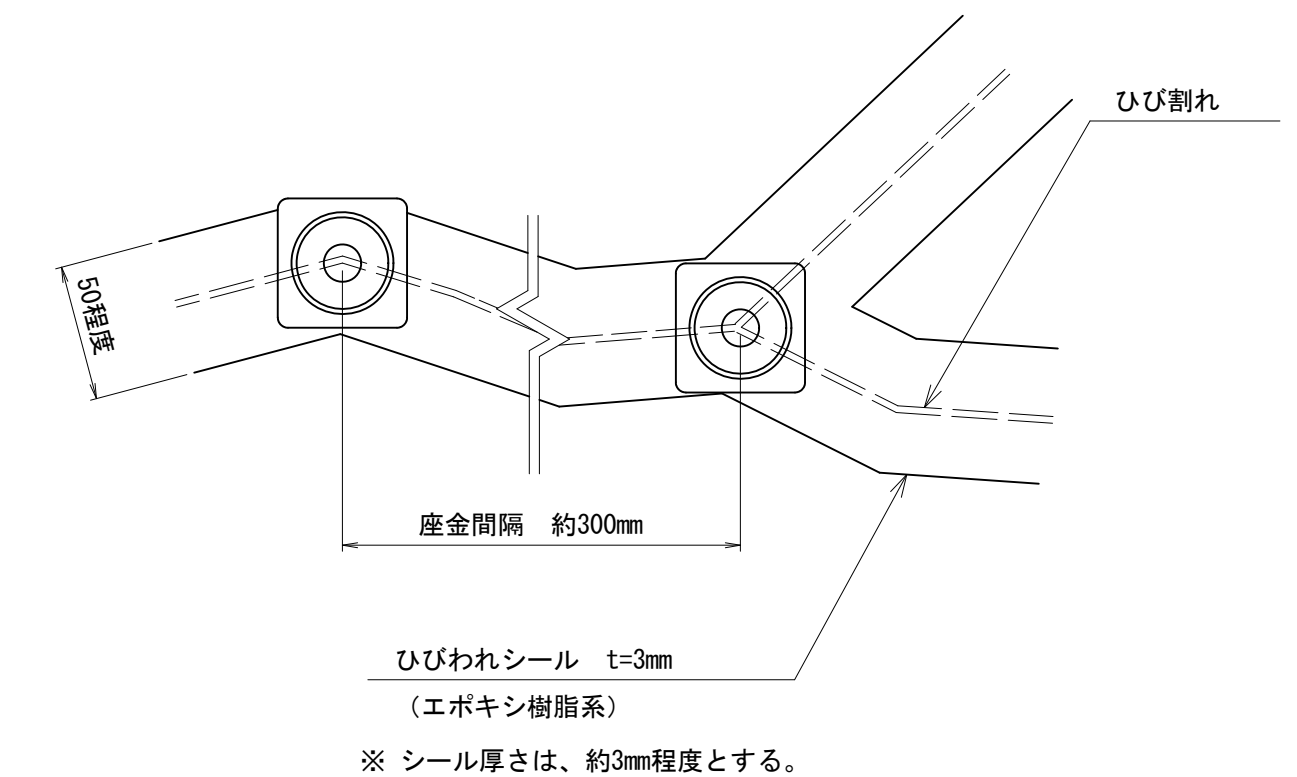
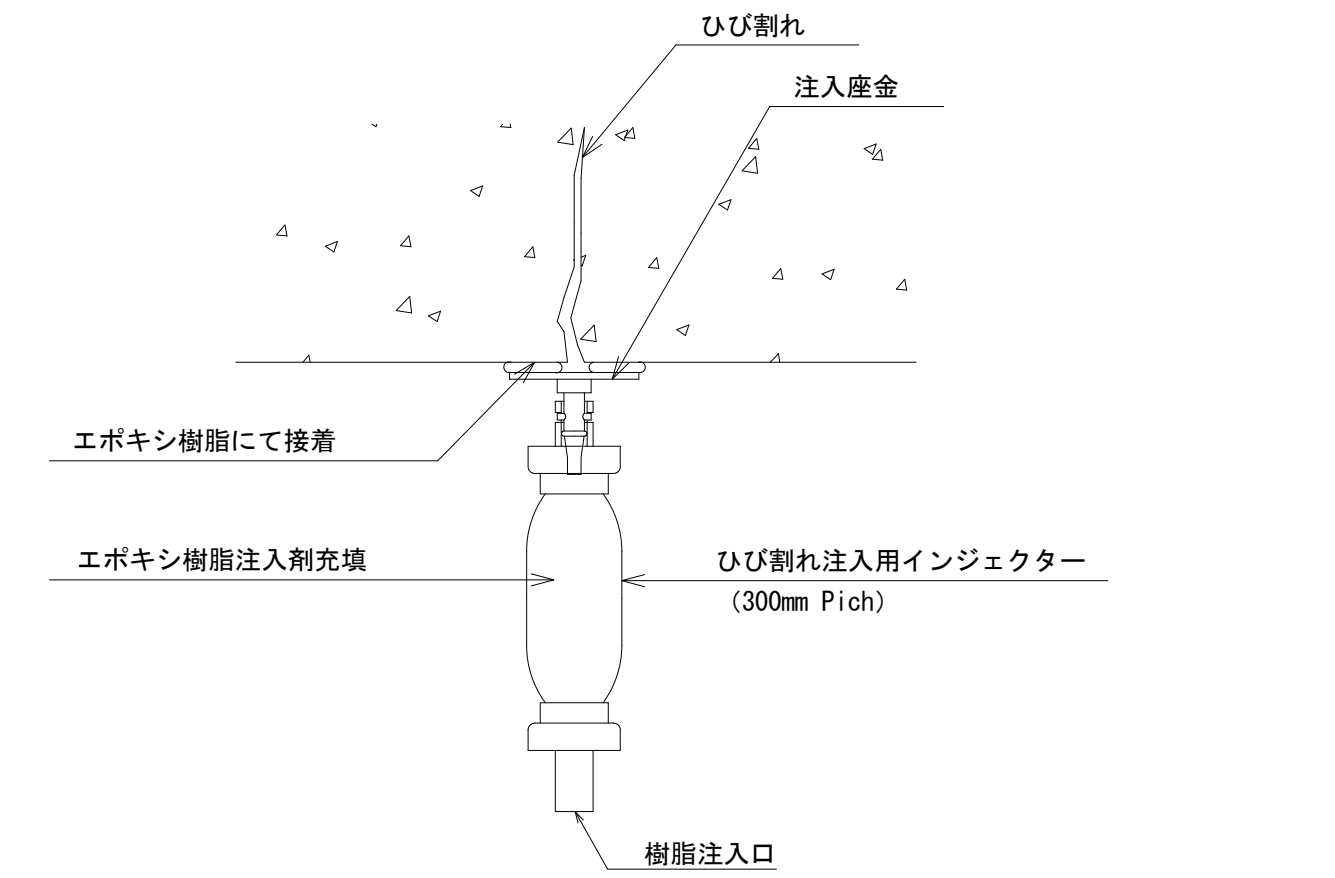


伸縮目地詳細図

S=1:2



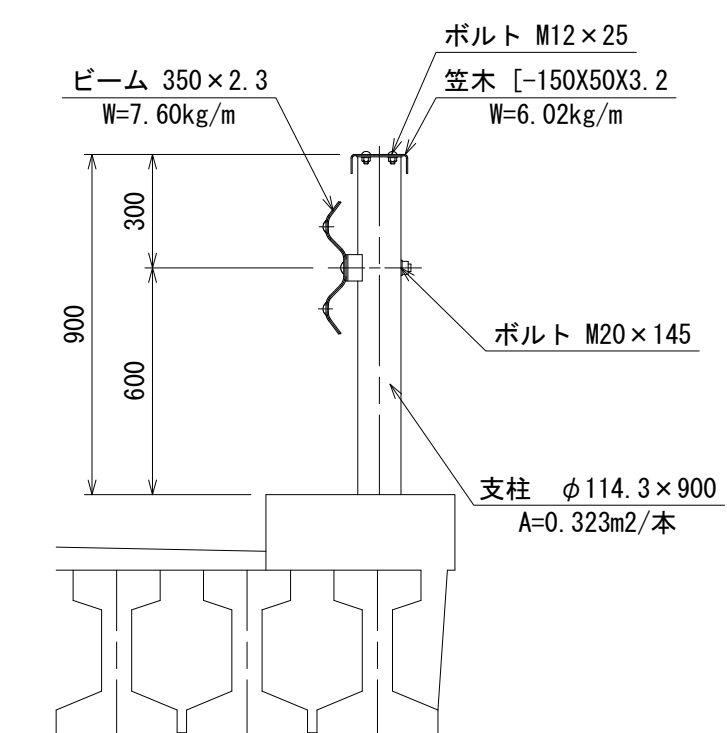
ひび割れ補修詳細図



※ ひび割れ部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

ガードレール詳細図

S=1:20

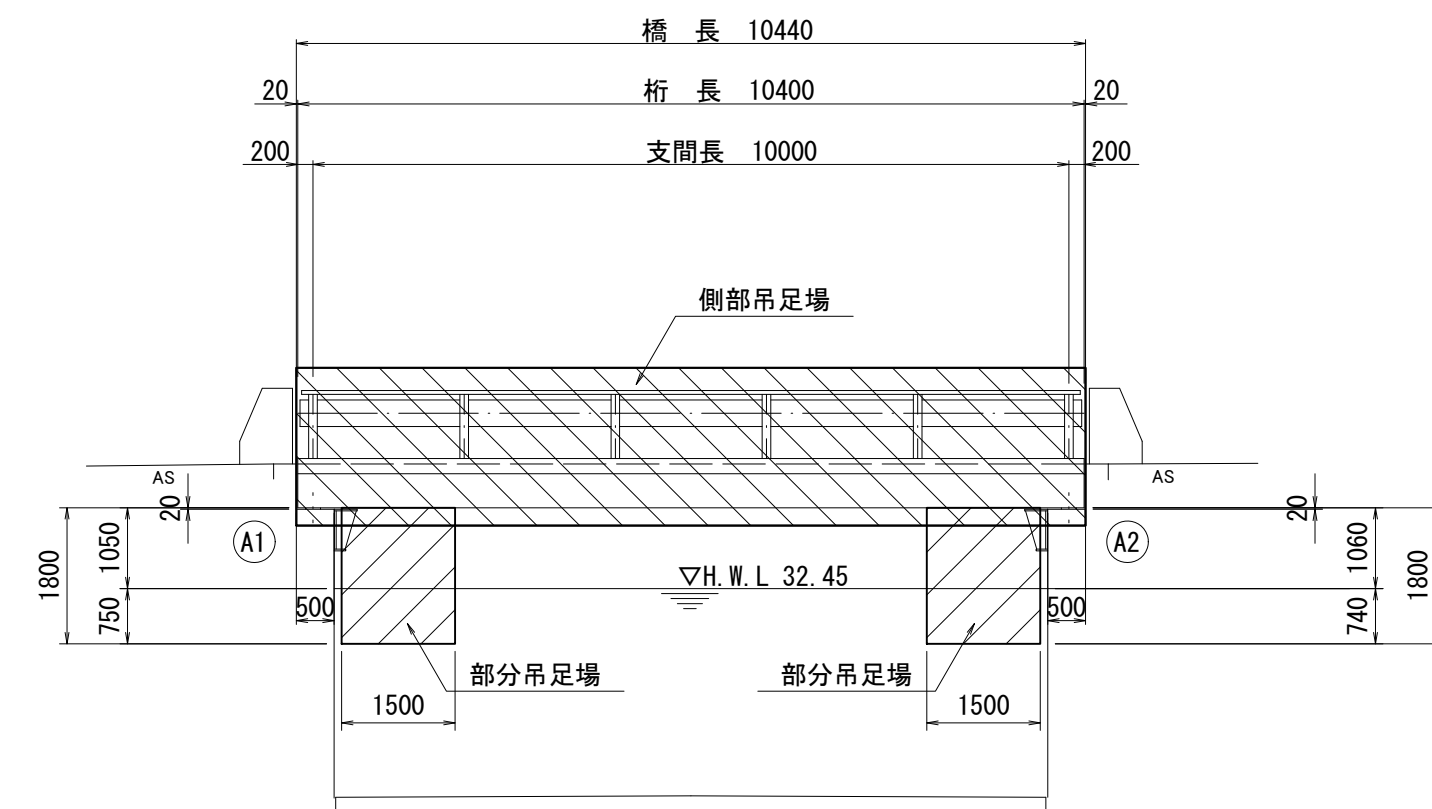


工事名	平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 小野寺橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	修繕工詳細図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 5
会社名			
事務所名	多気町		

# 仮設足場工 参考図

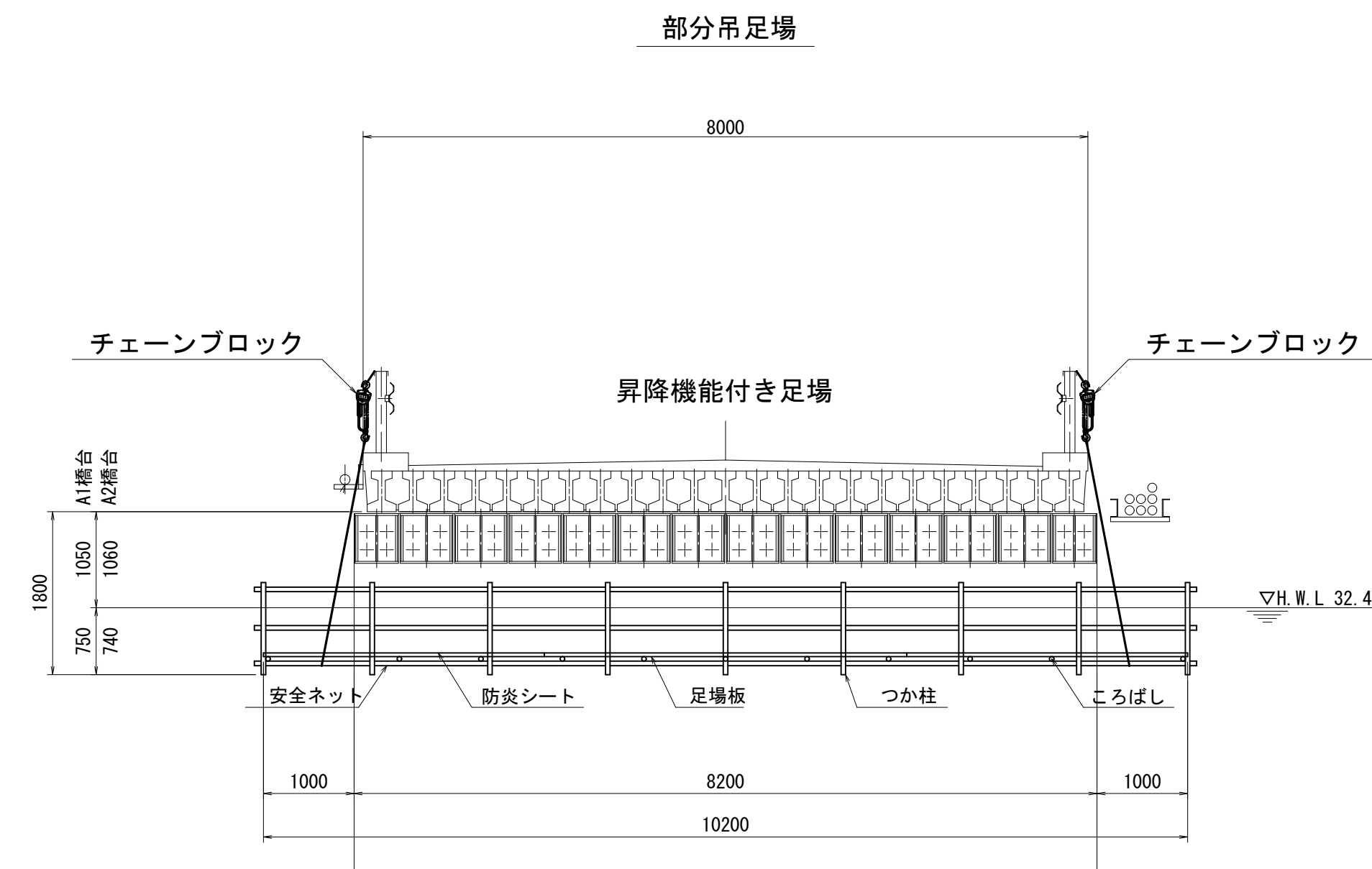
側面図

S=1:100



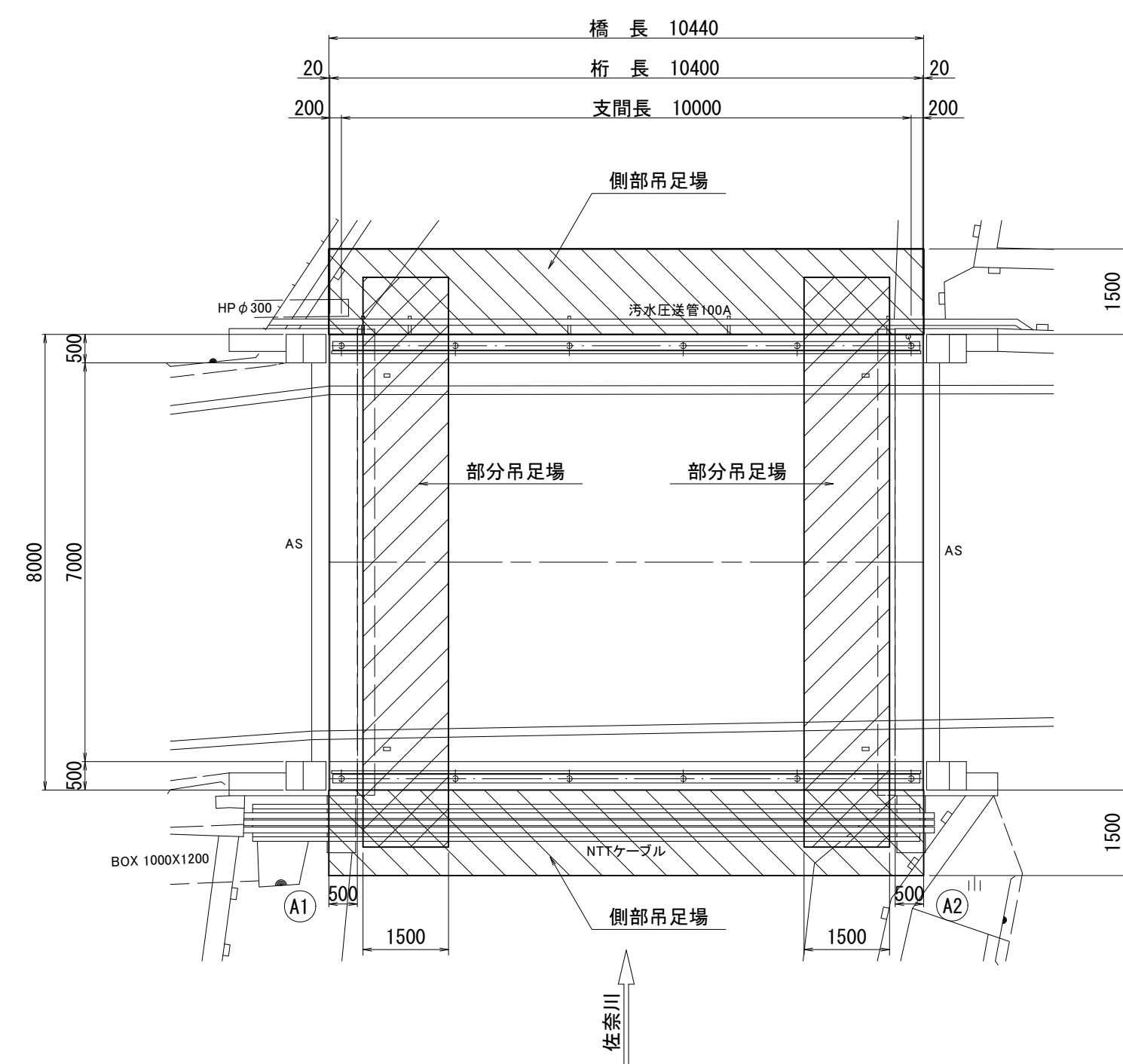
断面図

S=1:60

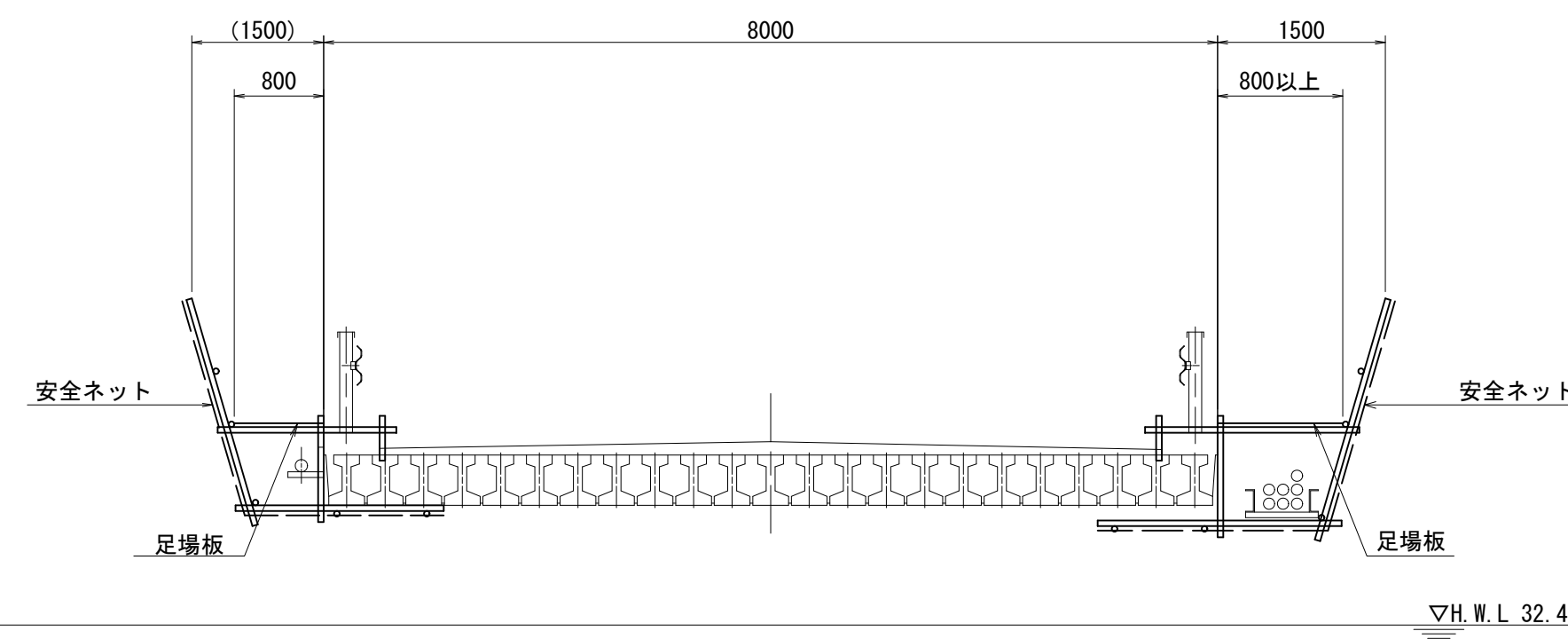


平面図

S=1:100



側部吊足場



※部分吊足場は鋼製ブラケットの設置のために設置  
側部吊足場はガードレール補修のために設置、各々別の時期に施工する。

工事名	平成28年度 社会資本整備総合交付金事業 小野寺橋 橋梁修繕耐震補強工事		
図面名	仮設足場工 参考図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 葉之内 6
会社名			
事務所名	多気町		